関大

発行
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋敷民蔵
電話 06(388)1121代表
振替口座大阪55594番

望遠鏡から顕微鏡まで
光学館
心斎橋店2階
メガネ大学堂
●京橋店●心斎橋店
●阪神百貨店●虹のまち店

54年度校友総会

10月28日(日)中之島公会堂で

とき　十月二十八日(日)
午前九時から受付

ところ　大阪市北区中之島一
大阪中之島中央公会堂

(地下鉄御堂筋線淀屋橋、同堺筋線北浜、京阪電鉄北浜、淀屋橋からいずれも徒歩五分)

会費　三、五〇〇円(総会前日までの前売券は三、〇〇〇円)—ご家族同伴者も一名につき同額

映画　10・0〜10・30

ご案内

「飛鳥とともに」
関大教育後援会製作

講演　10・30〜11・30
「関西大学の発祥とその歩み」
関大文学部教授
横田　健一博士

総会　11・30〜12・30

会務報告　母校近況

組織顕彰

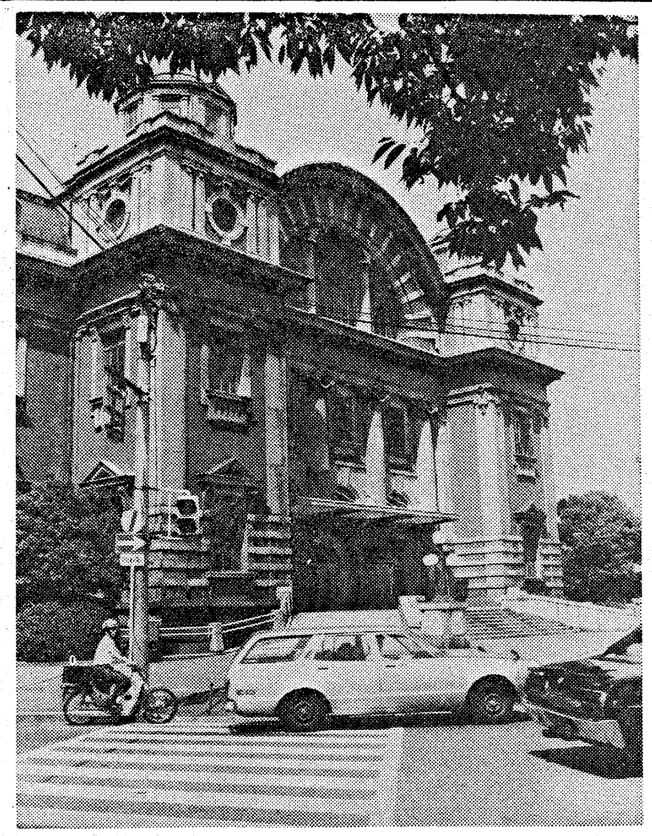
昼食　13・0〜14・0
各自、自由に懇親

アトラクション　14〜15・0
小野永一朗・校友(鶴田浩二)賛助出演、母校学生(応援団吹奏楽部、グリークラブほか)の協賛

福引　15・0〜16・0

—以上は公会堂大集会室で—

市民相談　9・50〜11・20
公会堂前広場で府・市政、法律、発明(特許)、税務、住宅、進学の無料相談所開設


私たちを待つ中之島中央公会堂の宏壮優美な正門入口

〝中之島〟校友総会メモ

大阪府に四区七郡制が施行されたのは明治十二年(一八七九年)二月。東、南、西、北の四区に、東成、西成、住吉、島下、島上、豊島、能勢の七郡、百周年。

関西法律学校(関大の前身)の創立は明治十九年(一八八六年)十一月四日。大阪西区京町堀上通三丁目三番地の願宗寺。

大阪市制は明治二十二年(一八八九年)四月。今年は九十周年。

中之島は大阪市初の公園として明治二十四年(一八九一年)十二月に開設。淀川の下流に位置し、北を堂島川、南を土佐堀川が流れる東西三、四〇〇㍍に及ぶ中州。

中之島中央公会堂は岩本栄之助氏の寄付金・百万円をもって大正二年に地鎮祭を行い工事五年、大正七年(一九一八年)十月に完成。構造は耐震耐火、その宏壮優美な姿は、六十一年後の今日も、中之島の一偉観たるを失わない。

関西大学初の〝統一校友総会〟は昭和十三年(一九三八年)十一月二十日、この中之島公会堂三階大ホールで千人を超える校友を集め盛大に挙行された。今回は四十一年ぶりの総会場となるわけだ。

昭和生まれの校友学長

第30代 大西昭男教授を選出

母校・関西大学では九月九日、中義勝学長の任期満了にともなう次期学長選挙会(管理委員長・前田春眞工学部長)を開き、副手以上の専任教員が投票、大西昭男・文学部教授を選んだ。これをうけて十四日開かれた理事会で、大西教授は第三十代次期学長に決まった。校友学長としては岩崎卯一(故人)、森川太郎(故人)、広瀬捨三の各氏、中学長につぎ五人目である。任期は十月一日から三か年。初の昭和生まれの学長の誕生である。

今回の選挙は、昭和四十八年七月に成立した「学長選挙に関する暫定規程」にもとづく三回目。

七月十八日の学長候補者選考委員会(各学部教員六〇名、大学事務職員一〇名の計七〇名で構成)で、明石三郎(法学部)、大西昭男(文学部)、高木秀玄(経済学部)の三教授が、学長候補者に選ばれた。

八月六日、規程による「学長候補者に対する学生の除斥投票用紙」が郵送された。九月一日、除斥投票数は一、〇九九〜一、六二五票で、規定数の七、二五一票(全有資格者二一、七五七名の三分の一)に達した候補はなく、三氏とも学長候補者に確定した。

九月九日の学長選挙会当日の投票有資格者は五〇四名。海外研修、国内出張などを除いた投票可能者は四七六名。うち九一%の四三三名が定刻の午後二時から投票した。

大西次期学長(左)と樫本校友会長の固い握手

三候補とも過半数を超える票が集まらず、「暫定規程」の発足後、初の決選投票となり大西教授が選出された。

大西昭男教授は昭和元年十二月二十九日生まれ。二十二年三月関西大学専門部第二部国漢科卒業。京都大学文学部に進み二十六年三月英文学専攻科を卒業。四月に関西大文学部初の助手。三十二年助教授、三十八年に教授となる。入試実行委員長、文学部長を歴任。今年五月から図書館長として、各地の有名図書館を意欲的に視察していた。専門は英米文学の中でも難解といわれるヘンリー・ジェイムズ。大阪のご出身。現住所は吹田市青山台。五十二歳。

日の目みた〝対話里親〟

韓国の崔さん 芦田副会長宅へ

「お庭に木槿(むくげ)がありますのネ。私の〝国の花〟ですワ」

「朝鮮戦争の国連軍従軍特派員(毎日新聞)の時代の追憶に植えている。六種あります。お好きな枝を帰りに持っていらっしゃい」

九月十四日の夕暮れ、社会学部三回生の崔善子さん(大韓民国)が、校友会副会長、法人理事の芦田定男氏の豊中市上野坂のお宅を訪問した。校友会事業部が、校友のみなさんに呼びかけてきた留学生との〝対話里親〟が、はるばると日の目を見たのである。

里親への申し込みも事業部副部長の富田淑郎氏ら数氏から、中に先輩留学生からの温かい電話も入っている。

大学当局でも九月十三日正午から関大会館四階の大集会室で、学長、各学部長をはじめ学生、就職、教養の各部長ら三十二名が出て、台湾、韓国、マレーシア、タイ、インド、インドネシアの四十三名(うち四名欠席)の全留学生と懇談会を開いた。

お婆ちゃんも一緒に団らん

芦田さんの韓国にいったときの写真帳をめくり、話がはずむ。

「ご両親は」

「ソウルにいます」

「これが一九五三年のソウル。町は焼けていました。人口は十万ぐらいでしたか」

「まだ生まれていません(笑い)この夏に帰ったときは七百五十万人」

「ホーウ!」

樫本会長が激励の握手

十四日の理事会に「理事」として出席の樫本校友会長は、会議のあと関西大学会館の廊下で大西教授と、ばったりと出会う。手を取りあって四階大集会室へ。歴代学長、理事長の肖像画の並ぶ中で、強く熱い握手。

「どうか就任されたら、すみやかに図書館問題を」

「はかりずも学長に選ばれ、おどろいておりますが、関大図書館には京大の学生時代から勤めさせてもらった、深い思いもありまして」

「戦後、母校に助手制度がつくられ、法学部の初の助手(二十四年)が中学長、文学部の初代(二十六年)が大西先生でしたね」

「関大で生まれ、関大で育った私です。必ず骨を関大に埋めます」

先輩・後輩の温かい血が流れて、再び強い握手がかわされた。

芦田さん宅では、おばあちゃんまで出てのもてなしだった一右端が崔さん

久美子夫人が「なにもありませんが、食事をご一緒にしながら」と崔さんを食事に誘う。

「妻の手料理です。次には、あなたの注文の材料を仕入れておきますから、〝韓国料理〟を味わあせてください」

「えェ!(びっくり顔で)。おばあさんもご一緒に ネ。韓国の若いものは、お年寄りと話すのがすきです」

「これで我が家は全員集合だ。一人娘が近くに嫁いでいますが、そう、犬がいるんだ…。散歩に出ているらしいが」(一同大笑い)

夫人のお母さんのヨネさん(七七)も加わり、にぎやかにだんらん。ゼミで「家族制度」をとっているが、日本の核家族現象にはまどう。「あんま」さんなど、両国で同じ言葉がある。英語の試験で、内容は理解できるのに、日本語で書く答案は失敗する、など……。

崔さんは、お姉さんも関大法学部を出ている。在日も三年目。なかなかに日本語が上手だ。おばあちゃんにも、奥さんにも話しかける。

しかし、つまれば、そこはベテラン〝国際記者〟だった(いや、いまもそうだ。記者というより国際評論家だ)芦田さん、韓国語と英語をあやつって話をへしおらない。四時間もたったというのに卓上には話題がいっぱい盛りだくさんでいた。

韓国同窓会本部を訪ねて

崔さんは夏休みにソウルに帰り、韓国同窓会本部を訪ねた。感想文を校友会に届けている。

七月二十四日に、家族の待っている韓国に帰ってきました。ソウル空港では、家族と母国の青い空が私を迎えてくれました。久しぶりに家族とだんらん。くつろぐ。数日後、芦田・関大理事さまの紹介をいただいた、関西大学・韓国同窓会本部をお訪ねし、李達雨会長さまにお会いできました。関大の今昔の学生生活を数時間もお話ししました。いろいろな本や新聞も見せていただく。李会長は、すごく若々しく感えました。

今まで何回か、韓国に帰りましたが、同窓会本部のあることを知りませんでした。先輩にお会いでき、このような楽しい時間を過ごせたのも芦田さまのおかげ。

李会長の同窓会のお仕事は、非常にたいへんだと思いますが、会がますます発展し、永遠に続くよう祈ります。韓国の先輩のみなさま。来年もまた、よせていただきます。

先輩留学生から後輩支援の電話

神戸市の林　嘉雄氏(昭41学一経)から〝対話里親〟の申し込み電話があった。

私も在学中は台湾・中華民国からの留学生でした。「陳　嘉雄」といっていました。鮟江ずきを出て、学校からの推薦で、現在のシーランド・サービス社に勤めることができました。他の留学生のことを思うと、ほんとうにラッキーでした。数年前に日本の国籍もとれ、子供もでき、充実した日々をおくっています。

しかし、留学生の日本での就職は、ほんとうにむずかしい面があり、いろいろとあります。若輩なのでたいしたことはできませんが、兄貴として、家庭料理を食べながらの相談にはのれると思います。ぜひ後輩のため何かをしたい。

〒657神戸市東灘区魚崎西町二丁目一二〇—一〇九。
電話〇七八—822—四一五七番。

地元を固め〝価値ある総会〟を

地元校友の格別の協力を

校友会長　樫本　信雄

校友のみなさまには、ますますご健勝のことと、お喜び申し上げます。

年に一度、校友が家族ぐるみで集う〝秋の祭典〟が近づいてきました。多数校友のご元気なお顔とお会いできることを心待ちしております。

今年は大阪に区制が生まれて百周年、大阪市制が九十周年という意義のある年であります。校友総会も四十一年ぶりに、商都浪速の中心、校友会ゆかりの中之島公会堂で開ことになりました。地元市民の心に映える、生新な校友会活動の第一歩になる〝価値ある総会〟になることを祈念しております。

初めて開かれる各種の「市民無料相談」を担当される校友各氏のご尽力はもとよりでありますが、母校の発祥の地、西区校友としては、特に意義深い総会なので、例年以上に校友多数の参加を、強く呼びかけている。

中之島へは近くでもあるので、校友会本部の要請があれば、いつでも会場のお手伝いに行きたいと思っております。

区民活動の校友と近く具体案を

尾崎正三・南支部幹事長の話

わが支部の校友には、区内の青少年対策など区民と密着した社会活動をされている方が多い。

今回の校友総会が市民参加をうたわれていることに留意し、近く役員会を開いて、具体策を練り、有意義な総会への協力をしたいと思っている。

市民無料相談へ区民多数参加を

片野総一郎・東支部長の話

居住校友が少ない支部だが、府庁、郵政、国税、日本生命などの職域の校友との連絡がとりやすい点をふまえて、九月二十一日に支部総会を開いて対策を詰める。

区内の地域新聞にお願いし「市民相談」への区民の多数参加を図りたいと思っている。

多数参加目指す要請あれば応援

増田誠一・西支部長の話

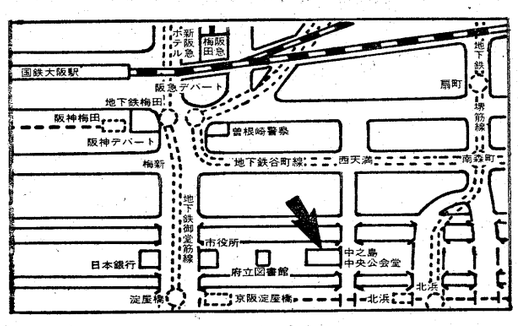
校友のみなさまの格別のご協力をお願いしてやみません。

校友区長とも連絡し支部あげて

森位弘治・支部長の話

地元で校友会が開かれることに喜びと責任を感じている。幸い久ノ坪清・区長も校友。よく連絡をとり、成功させたい。

区内の地域新聞にもお願いしての区民へのPRも進めているが、なによりも支部役員は、当日の会場運営の応援に馳せ参じたい。



留学生の就職を!

留学生の四回生は現在七名、卒業後、帰国し母国で活躍するものが多いが、「なんとか日本で就職を」と希望するものも少なくない。校友の一助力で、と工学部事務室の稲置啓一主任が訴えている。

日本での就職を希望している学生名と、理由、職種を記します。心当たりのある校友は稲置主任まで、ご連絡いただければ幸甚です。

電話は〇六—388—一一二一番。関西大学・内線(二四三番)。

曾　瑞祺君(台湾・中華民国)
工学部機械学科四回生　26歳
昭和四十九年十一月に来日し、国際学友会日本語学校で一年三か月間にわたって日本語を学び、五十一年春に関西大学にいれていただいた。この十一月で在日五年になります。有意義な学校生活を送りましたが、世界の経済大国・日本で、まだまだ学ばなければならない知識や技術がいっぱいです。希望職種は〇機械に関する設計・研究、開発〇生産技術者〇機械会社で中国語を生かせる職場。

陳　素梅さん(台湾・中華民国)
商学部四回生、29歳
四年間の大学教育は、単なる一つの学問にすぎなかったように思います。留学生の私にとっては、語学(日本語)の習得に追われ、専門学科をどれだけ強勉したかは疑問です。日本は貿易の先進国です。ここで勉強したものを、いま一歩進めて実務の中でも体得させていただきたいため日本での就職を望んでいます。

希望業種は商社、銀行、ファッション、美容関係のいずれかに。

ジュニア関関戦 9月24日華かに

関大一高と関学高等部の〝ジュニア関・関戦〟第二回戦は、九月二十四日午前九時から千里山の関大グラウンドで開かれる。

昨年秋、両校生徒たちの手によって、大学同士の関・関戦よりも一足早く実現したもの。昨年の第一回は関学の上ケ原キャンパス。今回は前哨戦・八月二十六日のヨットで、まず関大が一勝。二十四日は硬式野球、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール、剣道、柔道、硬、軟式庭球、卓球、バスケットボール、バレーボール、水泳、拳法、空手、弓道の十五種目を千里山関大キャンパスでくりひろげ若い血潮を燃えさせる。

陸上は証券グランドで。ワンダーフォーゲルは前日から合同登山。馬術は後日実施される。

葬の雫

奈良の旅館が久しぶりに活気づいている。明日香プームで、うけに入っているのだ。大和観光の〝端境期〟の夏も、ことしは予約客でいっぱいだったそうだ▼道路のよくなるのが憎らしい。観光バスでの見物が増えるばかり。泊りはみんと京・鴨川だ。といった嘆きが、さまがわりしたのは〝考える飛鳥〟の登場からだ。古墳に立ち止まり、奇石を見つめて古代を、おのおのが探る。それには京・大阪を基地では時間が足らず、奈良の宿となった▼明日村公民館で開き五年目に入った関大の飛鳥史学文学講座。この八、九月の開講日に、飛び込みで受講を希望された人があった。その一人、年配の男性は、北海道からだ。関大の〝飛鳥を考える〟を読みながら散策していて、開講の看板を目にしたと、本まで見せてだ。一番前列の席で、憑かれたようにメモを取り、喜び勇んで帰られた▼この飛鳥は、マスコミで始まった。高松塚の壁画、ナゾのマルコ山の発掘。しかしここは見るべき建造物も、文化財もない。風情ある片田舎にすぎない。忘却を救ったのは〝考える観光〟への発想であり、PRであった。初めてより二度目の味わい。そして、三回目にしてる喜びを。〝関大講座〟が寄与したと胸をはってもいいのではないか▼東京、九州からと五百人を超える多彩な受講者。真夏の炎天日でも三百人は下らない。なぜだろう。地元ご出身の網干教授が万難をさいて、毎回軽妙な司会をされ、村民が温かく支えてきた。地域での核ができているからだ。開講場所はちがうが、秋季講座中の第八回〝吹田市民大学〟も、いまや地元庶民の憧れとなっている▼これらに比べて、大阪市内で開かれた第十九回泊園記念講座は心が痛んだ。興味深い現代アジアの問題を、錚々たる三人の講師が担当されたのに、関係者を入れ三十人足らずの集いだった。通知さえ出せば、の安易な事務運営ではなかったのか。満員の教室を沸かせた黄坡先生が、地下で泣いておられることだろう。校友会を機関で、母校講演会を企画される場合の要諦は、受講者の〝核づくり〟こそ望まれるゆえんだ。

中学長もご拠出

九月はじめに「新聞発行協力金」についてのお願いの手紙を出しておりました。これまでに一拠出された方、終身会費を納行の二万円で払い込まれている方には出しておりません。

文書郵送校友は四万余人。校友会財政をご昏察のうえ、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

中　義勝・学長には、はやくも九月八日、校友会事務局へ協力金を持ってこられた。

新聞発行協力金協賛者芳名

十件　五万五千円(三月十五日から九月十一日受付分)
▽総計　四千三百六件　二千百八十二万二千円。

坂田和也(昭50)中谷治雄(昭47)岡沢章郎(昭5)杉原義徒(昭42)杉本充(昭48)井上専一郎(昭2)木下　清(昭13)和田孝文(昭31)中義勝(昭21)長谷川博彦(昭22)

終身会費納入者芳名
(在学予納を除く最近受付分)

一括納入(二万円)
矢倉　朝一(昭19)　木村保(昭3)　木内宗七(昭43)　高橋勝(昭38)　寺島久博(昭37)　紺木久弥(昭43)　印藤政彦(昭43)　相沢正信(昭13)　菊池清(昭24)　千田安男(昭39)　木村雄一郎(昭31)　石塚博(昭32)　桜井努(昭30)　後藤安子(昭49)　中川浩一(昭31)　上野稙夫(昭9)　清谷利次(昭30)　畠秀暁(昭26)　近沢国之(昭18)　下津田夫(昭30)　笠松忠興(昭36)　清水実(昭17)　林五月苗(昭26)　森景英世(昭51)　宅克興(昭28)　高田義(昭23)　長谷川裕(昭28)　匠章夫(昭29)　中瀬逸雄(昭52)　田中健一(昭40)　平田正二(昭6)　山本恵(昭26)　若林佑子(昭33)　木村勝彦(昭36)　延谷謙三(昭20)　山本伸治(昭33)　大塚泰助(昭16)　佐久間正純(昭17)　佐伯文也(昭32)　野村稙良(昭31)　江畑三郎(昭10)　井本淑(昭11)　行方正行(昭28)　土田庄太郎(昭32)　辻武史(昭30)　足立義(昭33)　北之坊林一(昭3)　菊田光嘉(昭37)　左川弘治(昭43)

カタノヨイ　カタノコラヌ　カタノクズレヌ　カタノ洋服店
最高のおくりもの
カタノ紳士服
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通
電話大阪(231)〇五六五〜七
大阪駅前店第一生命ビル専門大店
電話大阪(341)〇七九二
上六近鉄百貨店紳士服サロン　テーラーカタノ

ニーズにマッチした商品構成
バース・ハンドバッグ・カバン専門卸商社
株式会社廣島屋
取締役社長　藏田廣造
(昭25学1経)
本社　〒541 大阪市東区博労町1-26
TEL06-261-2431(代)
営業所　大阪5・東京1

●サラリーマンの財産づくりに—
ダイワ財形信託
●天引きで貯めやすい
●高利回りの信託
●積立金は1,000円から
●優とは別枠で 500万まで無税の特典
長い人生——頼りがいある銀行を持つべし。
大和銀行

TOYOTA
FF
1300・1500
CORSA
FFコルサ・NEWコロナ・新型マークII
神戸トヨペット
取締役社長　西村治三郎
本社　神戸市兵庫区水木通2丁目1番1号　☎(078)576-5001

会計事務所各位
JDL会計事務所専用コンピュータ
—端末機ではありません—
¥46,000/月
コンピュータ価格の常識を打破した"JDL 208 model 1"。
発表以来半年ですでに500人の先生方がご愛用です。
毎月の使用料は、なんと従来の約1/3。わずか46,000円です。もちろん、会計業務を十二分にこなす高性能。会計事務所の必需品としてお気軽にお使いいただける、まさに、一事務所一コンピュータ時代に対応した画期的マシンです。
JDL 208 MODEL 1
JDL 208 モデル1 会計事務所用プログラム
●合計残高試算表●総勘定元帳●経営分析表●比較貸借対照表●月次比較損益計算書●資金繰実績表●決算報告書●青色申告書●補助簿●減価償却明細表●給与・賞与・年末調整●販売管理システム
お問い合わせは
株式会社デジタル
本社 〒542大阪市南区安堂寺橋通2丁目33番地 相模ビル ☎(06)261-2755㈹
京都営業所 〒600京都市下京区七条通烏川西入 山本ビル ☎(075)371-6407

大阪府下関大自治体懇談会

大阪府下で"五千名"

30自治体の校友名簿完成

三年目を迎えた関大大阪府下自治体職域懇談会では、今春いらい会員名簿の作製を進めてきたが、九月二十九日に開く第三回総会で"四八七七名"の校友が載った名簿を配る。「相当数はいるはず」と言われながら、実態は"まぼろし"だった大阪市役所校友が、府庁旁魔会よりも五〇〇名も多い、一七六三名とはオドロキだ。

府下三十二自治体職員のうち、三十自治体所属校友の名がならんでいる。

組織があり、年二回の集いも続けていたところは、事務のわずらわしさはあっても、まだよかった。新しく発足したところ、名前だけのところは、多くの苦難がある。

学閥をつくるんではないか。なにかに利用される、など。世話人運営の懇談会の下での"一貫作業"ということが、どれだけマサツをさけたかわからない。また校友の住所を記載しなかったのも、ある意味で好評だった。

しかし、トラブルをおもんばかってこれまでの支部会費払い込みの校友に絞ったところも多い。それでも未提出が二自治体。

このため校友を漏れなく含めたとはいえないが、今回の作業で、府下自治体校友職員"五千名"が誇張でなかったことも確認できた。

ブロック	自治体	校友数
大阪府庁		1277
大阪市役所		1763
三島	吹田	158
	高槻	70
	茨木	85
	摂津	22
豊能	豊中	230
	池田	81
	箕面	44
泉北	堺	151
	泉大津	26
	和泉	23
	高石	21
泉南	岸和田	52
	貝塚	25
	泉南	8
南河内	富田林	25
	羽曳野	19
	藤井寺	18
中河内	八尾	92
	松原	51
	柏原	23
	東大阪	223
北河内	守口	109
	枚方	70
	寝屋川	55
	大東	52
	門真	70
	四条畷	15
	交野	19
校友総数		4877名

注　泉南地区・泉佐野と南河内地区・河内長野の2自治体については未作製

大阪市内支部連合

十月中旬には発会式へ

近く百周年を迎える母校の発展のためにも、校友の多い"おひざもと"を固めることが急務だとして「大阪市内連合」の準備会が八月二十九日、大阪東区の大阪証券会館で開かれた。

校友会本部から樫本校友会長、村上副会長（組織担当）、畑下組織部長ら十三人が出て、市内の十二支部、十六人の支部役員と話し合った。

出席の十二支部から、それぞれ一名の世話人を出して、常任幹事会をつくり、連合体の構想を練る。できれば十月中旬ごろ、組織化されている市内二十四支部に、各十名以上の参加を呼びかけ、連合体を発会させる、などを決めた。

代表世話人には、阿倍野の小嶌竜太郎・支部長が、満場一致で選ばれた。世話人の任期は一年。校友会事務局が四十九年六月に調べた大阪市内居住校友は二六、二三〇人。その後、五年間の卒業生などを勘案すると約三万人か。

顔を知ることから始めたい

小嶌代表世話人の話

お互いに顔を合わせ、話しを尽すことからだ。あのライオンズクラブでも、月に二回は顔合わせをする。知り合うことから三、四のブロック化、連合体へと進める。

連合で相互刺激

畑下・校友会組織部長の話

市内二十六区。うち二十四区に支部があり、十二支部が活発に活動している。ということは、反面では停滞のところもあるわけだ。連合することで、互いが刺激し、揺り起こしもできれば、ユニークな面の取り入れも。母校のおひざもと、校友も多いので、結集の力ははかりしれないだろう。

久しぶりに情熱のストームを組んだ伸志会のメンメン

昭16二予の結集へ

伸志会（A組）が呼びかけ

中　義勝・学長をクラスメートに持つ伸志会では九月八日、昼すぎから母校・千里山キャンパスを三十余年ぶりに訪れ、六時から大阪ミナミの"百番"で久しぶりの剛毅節に"バン声"をあげ、情熱のストームを組んだ。

伸志会は昭和十六年の春、第二予科A組に入ったクラスメート五十二名の会。その年の五月二日、当時あった北区梅ケ枝町の宇治電ビル地下の食堂で、クラス担当の三枝樹正道教授（故人）を囲んで開いたコンパがはじまりで、三十八年になる。学部二年で学徒出陣したため、終戦時の各自のいた場所により卒業はバラ、バラ。二十年度があれば、ソ連抑留で三十年近くになったもの。地方出身者が多く、戦後の食糧難等で復学できなかったものもある。

中学長の声で、まず黙とう。恩師すでになく、友また戦死などで十四名が死亡。四名が行方不明。現存確認は三十四名。うち二十五名の出席だった。

森岡重朋君の座持ちで話しが進むも、どうしても亡き友の追憶で沈みがち。とくに三年前、中学長の就任を祝ったとき、新潟から駆せ参じた水野由男君がすでにこの世にないことはショックだった。

今治からきた菅清志君が、当時の写真帳を出す。

ボクは復学できなかった。この写真を出しては、友を思い出していた。ストームを組んだ秋本順一郎君も戦死し、いないんだなあ！

アイン・ツァイ・ドライで行くか！と足立正治、小林哲夫の両君が中心となり、剛毅節のストームを組んだ。ただ夢中に声をはりあげて……。

中学長の提案で、物故同窓を調査、千里山キャンパスの慰霊碑に納めよう、来春、三月には母校のキャンパスで"日繇二条"涙にぬれる"レクイエム"のストームをと誓い合った。そして、いま評判の"明日青"の里で、"第二の青春"をうたいあげることを決定した。

なおクラス会では、校友会の同期会にも登録できないので、他で活動しているB組などにも働きかけ、当時の第二予科の会員（七クラスまであり、二〇六名）を結集することになった。このため代表世話人として弁護士の馬川毅君だけを選んだ。

名簿を機縁に啓発と親睦を

篠原昭三・代表世話人の話。

かつて手がけたことのない事業であり、対象も広範囲に及ぶため、種々手間どったが、みんなのツ"を噴射させてやっと到着できた。

努力で体裁を整えられた。

最近地方行政の重要性が叫ばれている折から、この名簿が機縁となって、同学の士による自治体相互の緊密な提携を生み、校友相互の啓発と親睦を進めていきたい。

11月に仁和寺へ

再建大淀支部の初行事

五月に再建された大淀支部では、その後、地域内の校友に広くアプローチするための行事を検討していたが、このほど開いた第一回幹事会で、家族そろってのバス・ツアーを十一月ごろに行うことにした。

行き先は、支部長が西口公教先輩（昭10大法・国分寺管長・大阪府仏教会長）ならではの"京都・御室の仁和寺（にんなじ）"と決まった。

経理局管理部主幹（昭37学一経）は次のように話している。

関大出身者以外からの冷い目が、当初なかったとはいえないでしょう。それにもましたのが"隠れた校友"の発掘のむずかしさだった。調査拠点だけでも二十六区役所をはじめ五十数か所。友から友へと二段、三段の"愛校心ロケット"を噴射させてやっと到着できた。

一高生は"お荷物"か

校友からのご意見に答える

コラム「葦の雫」について二氏から、ご意見をいただいた。摘記してお答えします。

六月十五日付（二七七号）の関大一高生問題について。

「優秀な頭脳を持って入学しながら、大学の"お荷物"といわれがちな関大一高生の十五年目が、他大学へ進学したものとの対比で」の記事にひとこと。①大学の"お荷物"とはいかなる意味か。②いわれがちな、とあるが、それは誰が言っているのか、また、貴（校友）会は一般にそのように言われてるとの理解されているのか。

私は関大一高時代、当時の三島校長が主張・実践された、大学受験戦争に制約されない、一高の心身一体の全人格的教育方針に基づいた教育を、最も進んだ教育と思っており、現在でもその通りだと理解しております。疑問に思った点が私の独断であって貴会の真に意図されるところと相違しているのであれば幸いですが。松尾昭彦（昭53院法）

関大へ進めぬ一高生を憂う

編集部から　進学時になると大学側と一高側に見解の相違があるようです。付属高校でなく併設高校のためでしょうが、近年は相当数の一高卒業生が、関大に進学できていません。一中・一高への入学は難関です。入ってからゆるむのですか。または大学側のペーパー・テストに問題があるのでしょうか"一貫教育"も画餅になっているようにみえる。そこで「大学出でから十五年」の視点での、再検討を訴えたのです。

なお、ある学部では、一高出身者の留年率は五％、他高校のそれは七％と聞いては、"お荷物"といわずして、他に表現がありましょうか。一高生こそ"関大生"の中心であるべきだと思えばこその苦言です。

オール関大として一中・一高教育を

西岡　宸・一中・一高校長の話

一中・一高の教育はどうあるべきか、真剣に取り組んでいる。基礎学力の充実の面から、来年からは一中の入試に社会を加え、国・算・理・社の四教科に。一高は社会と理科をふやし、英・数・国・理・社の五科目とする。

一中の教育は学習のリズムを体得させること。一高は、これをふまえて、勉学であれ、体育であれ、力強くアタックするたくましさを育ててゆき、一高を出たことを誇らしく思うようにしたい。

一中に入ったから、一高に入学したから、当然、関大へ進学できるという"甘えの構造"でなく、ボクはBクラス。ときどき永田為之君のお世話で集っている。予科全クラスの団結には大賛成だ。

ベトナムの後輩に一層の熱情を

七月十五日付（二七八号）のベトナム留学生問題について。

阮君を励ますべく電話のダイヤルを回して、出ないからといってやめたでは不見識。さらに熱情を傾けて訴えてこそ、国際的人道問題（An international question of humanity）ではなからうか。阮君ばかりではないとすれば、なおさらである。母校の名誉にかけても、このさい決断すべきである。三十七年前ベトナム（仏印を旅している）を知るだけに感慨し。**飯森徳秀**（昭11大法）

編集部から　もっともなご意見と存じ上げます。阮（グェン・ゴック・ロン）君の消息につきましては、本学工学部事務室の稲葉主任のご協力をえて調査したところ、吹田市に本社のある会社に無事就職し、現在、岡山の工場で元気に頑張っていることがわかりました。励ましの手紙を早速出しておきます。

中学、高校、それぞれに節目、節目の教育を完成させ、そして関大へつながる。ベルト・コンベアでなく"串刺しの団子"のような姿にもっていきたい。

大学側もペーパー・テストだけでなく、知・体・徳の三位一体の内申書を併用されるようにお願いしたいが、なにより私たちの努力で、本来、素質のよい生徒を、節目の厳しさで立派に育てあげることです。

実践的校友会論

"みんなでやろう"で結束

〈5〉　水野　富蔵（昭29学一商）

水野支部長

八月二十五日の宵、信貴山上から、わが住む町の夜景をみながら、家族ぐるみの総会を開いた八尾支部はアイデア支部である。再選された水野富蔵・支部長（昭29学一商）に「実践的校友会論」を話していただいた。支部長は母校の財務局理部課の主幹でもある。

みんなでやろう！というところから組み立っている。役員が多い。顧問十名、相談役と支部長は一名ずつ、副支部長が八名、会計監査の二名、そして幹事が三十名にもなっている。総計五十二名だ。各年代を漏れなく含む。この夏の改選でみても、大正十五年大法の松村陸鴻顧問から、この春卒業の新校友・山本泊子総務幹事まで。また地元校友府、市議は顧問、または、無任所の副支部長で、適時、適切な助言と協力をえている。役員の任期は三年。

アイデアを効率的に生かすために総務、広報、事業、組織、交流、財務の六委員会がある。それぞれを各副支部長が委員長として責任担当。その下に五人の幹事がついている。運営は顧問のアドバイスで、軌道修正も柔軟だ。それだけに、ちょっとしたアイデアにも、すぐ飛びつけるし、また早トチリで迷路に迷い込むこともなだ。各年代を漏れなく含む。

総務委員会　四月には二十周年記念総会、五月には校友府、市議の当選祝賀懇談会および岸本芳夫顧問の勲五等双光旭日章の叙勲祝賀会を開いた。

隣接柏原支部との"連合総会"による"市民講演会"を企画中。

総会の通知を書ける人。受付ができる人。こまめに電話のかけられる人から選んだ。

広報委員会　母校千里山キャンパス金景や支部アルバムを入れた名簿を三月に出している。B6判一四〇ページ、校友一、三〇四名を登載している。出版部数一、五〇〇冊で、会員に無料配付。約六十万円かかった。支部広報もB4・一ページの創刊号が出している。近く第二号を予定して取材中。

写真のうつせる人。記事の書ける人。編集できる人で。

事業委員会　校友の結婚相談を、近く第一号が生まれそうだ。校友の助け合いを一歩進め、八尾市をクリーンにする運動を模索中である。

人の世話がすきで、できる人。

組織委員会　七月二十六日、単冊の校友会本部刊行の名簿から、新卒業生をひろい出し、電話をかけて歓迎会を知らせた。新校友の参加者は三人だけだったが、校友の奥さんの手料理で、ひとときの歓談を。

今後は組織の充実のため地区別の座談会を開く。また八尾市役所や菊水テープなど校友の多い職場には出かけていって話し合う。

各校区や職場へ行って未知の校友とすぐに話せる人。電話を気やすくかけれる人。

交流委員会　八月十八日から一泊で若狭へ夏のバカンス。ゴルフ組はわかさC・Cで、第七回八尾支部長杯を競い、魚釣り組は若狭湾で"底づり"を楽しんだ。一月には赤倉でスキー教室を開いている。旦下の目標は、二年後の"関大ファミリー"でのアメリカ旅行だ。

趣味豊かな人の会員集合だ。

財務委員会　支部の財源の確保こそ急務だ。支部の運営資金の二二％が会費収入。広告収入三六％と寄付金収入四二％が大きい。

支部名簿の発刊にあたっては約百万円の寄付、賛助広告をえた。

昭和五十三年度の収入総額は百九十万円におよんだ。

担当幹事は綿密な人の集りだ。帳面のつけれる人。寄付、広告を頼べ、かつ集金できる人。

八月総会での新役員次の通り。

◇顧　問　一〇名
▽松村睦鴻（大15大法）▽佐野登喜雄（昭3大法）▽早本芳夫（昭4専法）▽羽立利勝（昭6大法）▽田辺章起（昭8大法）▽榎本金次郎（昭9大英）▽糟谷武夫（昭9専二法）▽池田義彦（昭26専二経）▽畑下辰典（昭27学二経）▽松井良雄（昭34学一新）

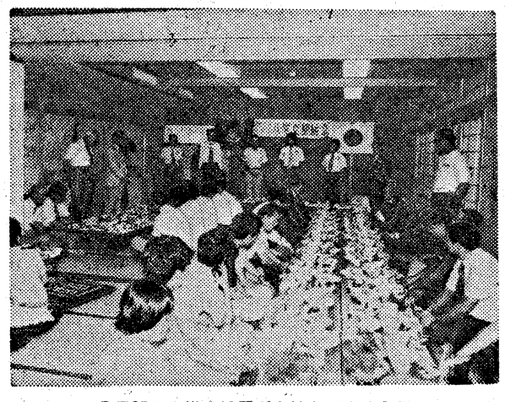
◇相談役　一名
▽大谷豊一（昭35学一経）

◇支部長
▽水野富蔵（昭29学一商）

◇副支部長　八名（カッコは卒業年次のあとが担当委員会）
▽宮城正良（昭24学一経・財務）▽白川孝三（昭28学一法・組織）▽重久雅哉（昭30学一法・事業）▽森田道昭（昭34学一新・無任所）▽大西康進（昭34学一経・総務）▽奥村信夫（昭36学二経・無任所）▽横山享史（昭39学一国・広報）▽加納靖夫（昭40学一経・交流）

◇会計監査　二名
▽保々登美子（昭29学一法）▽豊田敏男（昭29学一経）

◇幹　事　三〇名
（財務・五名）▽道幸　治（昭36専一経）▽杉山義一（昭30学二商）▽森内誠治（昭33学二経）▽奈良綱三（昭34学一経）▽中西曼治（昭39学一法）
（組織・五名）▽本田豊雄（昭28学一経）▽青砥申生（昭30学一法）▽橋本秀之（昭34学二英）▽西村卓朗（昭41学一管）▽堅田偉三久（昭44学一化）
（事業・五名）▽佐郷隆司（昭26専一経）▽畑森久三（昭26専二商）▽中川友一（昭34学一独）▽氏木義興（昭38院修法）▽倉本精三郎（昭47学一法）
（総務・五名）▽田中　弥太郎（昭6専法）▽古本宗作（昭9専一商）▽小路勝治（昭32学一新）▽田中一行（昭34学一経）▽山本治子（昭54学一中）
（広報・五名）▽中村忠一（昭25大法）▽中村善二（昭29学一経）▽崎山洋一（昭30学一経）▽畦本義興（昭35学一法）▽中村哲也（昭49学一法）
（交流・五名）▽城戸英太郎（昭29学一商）▽松谷寿雄（昭31学一法）▽石川恒彦（昭37学一法）▽伊夫伎弘（昭40学一英）▽杉本初子（昭47学一英）



8月25日の総会は子ども連れで和やかに

総選挙立候補校友のご健闘を祈る

校友会長　樫本　信雄

安定が伯仲、八〇年代の政治図絵の選択をかけた第三十五回総選挙が十七日公示される。

校友候補者が春の統一地方選挙と同じように、ご健闘、多くの栄冠者が誕生することは、校友会の喜びであり、母校・関大の誇りでもある。校友の温かい支援を、と校友会長は願っている。

なお本紙締切は告示前なので立候補校友のお名前は、万一、ソゴがあってはと考え、さしひかえますが、選挙公報には明記されるので、おたしかめのうえ、よろしくお願いします。

日刊全国紙などの紙面から予想される立候補者数の出身大学別ベストテンは①東大一、四八②日大九五③中大五六④慶大五一⑤京大二九⑥日大二八⑦明大二六⑧東北大一四⑨法大一一⑩関大、同大九。

さあ、校友の温かい支援で全員当選。"合格率"は百％のトップに押し上げよう。

久々に呉支部総会

ぐんと増えた若い校友

呉支部は八月二十四日午後六時から、呉市内の玉姫殿に三十五名が集まり、総会を開いた。久しぶりのうえに若い校友の参加が多かったので、むしろ"初総会"のような新鮮さ集いだった。

役員を決めたあと、今後は、年一回以上、必ず総会を開くこと、新執行部で規約の整備・検討を進め、次期総会で決めることになった。支部会員の調査もするが、百名程度になるもよう。

新役員は次の通り。

支部長　鍵尾豪雄（昭7大法・弁護士）

副支部長　上開地政夫（昭18専二商・会社役員）▽鈴木　剛（昭18専一商・呉市役所）

会計　松本弘美（昭31学一国・呉市役所）

幹事長　岡本　積（昭27学一経・芸備造船工業）

幹事　井上洋一（昭36学一経・呉市役所）▽真国信忠（昭44学一新・同）▽幅野和義（昭50学一商・同）

連絡先
〒737呉市中央四ノ一ノ六　呉市役所財政課　真国信忠
電〇八三―二五―三二七八番。

正・副支部長を再選

大分支部の総会

大分支部では八月二十五日の昼、大分市内のレストラン東洋軒に十七名が集まり第二十七回目の総会を開いた。

懇親の席では、三十回支部総会までには、一層、支部校友の連帯の輪を広げ、母校の百年祭には強い協力態勢をと誓い合った。

正・副支部長の再選をはじめ、決まった新役員次の通り。

◇支部長　渡辺順四郎（昭14大商）

◇副支部長　藤野幸男（昭20専一営）▽菊川徳則（昭31学一商）▽岡本義康（昭33学一国）

◇常任幹事　得丸正雄（昭15大法）▽小野頼男（昭33学一国）▽池田俊哉（昭44学二商）

支部事務所
〒870大分市中央町二ノ六ノ二五
藤野幸男方
電〇九七五―34―一四九九番。

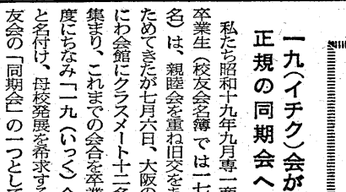
女子秀麗会第6回幹事会

女子秀麗会（井阪寿子会長）では、九月八日、第六回幹事会を開いた。

総務、広報、事業などの部をつくり、今後は会員それぞれが会務を分担し、息のながい、数多くの会員の参加する組織を目指す。

これまでの役員の分属を、希望を重点に、各種のバランスも考えて決めた。

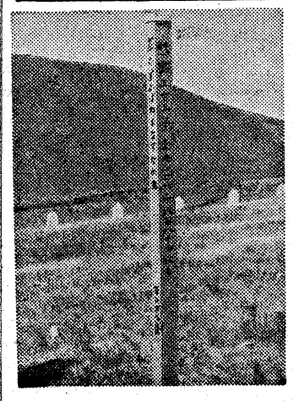
母校百年祭への協力を誓う
大分支部のみなさん



ウランバートルの小石を回向に

二センチ立方ほどの小石十数個が校友会事務局に届けられた。モンゴルのステップの、ちょっと赤茶けたモロイもの。抑留中、悲命に倒れた千六百八十四柱の墓地にあったという。このウランバートルの墓地は、百五十万四万くらいの囲いの中に、一本の墓標が立っているだけ。日本遺族会墓参団が立てたもので"草むすがばねとなるなかれ"と筆太に、印象的な語句が書かれている。

ウランバートルで、いやモンゴルで亡くなられた校友をご存じの方はありませんか。校友のみなさんのご親族で、大草原に散られた方はありませんか。ご希望があれば、一回向に、わけさせていただきます。



ステップの中に墓標一つ哀れ

行事と集い

- ●富山支部総会　9月30日（日）　午後3時半　富山・東急イン
- ●守口支部総会　10月12日（金）　午後5時半　守口市教育文化会館
- ●北海道支部総会　10月13日（土）　午後6時　札幌ビール園
- ●備後支部総会　10月14日（日）　午後4時　福山・良縁閣
- ●清交社関大会　10月18日（木）　午後5時　清交社
- ●堺支部総会　11月9日（金）　午後5時半　堺東駅前　楓林

一九（イチク）会が正規の同期会へ

私たち昭和十九年九月専一商の卒業生（校友会名簿では一七七名）は、親睦会を重ね旧交をあたためてきたが七月六日、大阪のなにわ会館にクラスメート十二名が集まり、これまでの会合を卒業年度にちなみ「一九（いっく）会」と名付け、母校発展を希求する校友会の「同期会」の一つとして新しく踏み出すことにした（写真）。

会長には遠藤渉・常議員を、幹事には土橋修、中川三郎、矢倉朝一の三氏を選出した。

事務所は〒572寝屋川市早子町十ノ二八、矢倉朝一方。電話〇七二―〇―22―九一八四番

大学の窓

55年度の在外研究員は10名

五十五年度の在外（学術・調査）研究員が決まった。

▽一年間の学術研究員は六名。
笠田欣治・（文）教授　米岩井　浩・（経）教授　瑞西上田惟一・（法）助教授　英三上宏美・（商）助教授東西独福留祥子・（社）助教授　英米藤井拓蔵（工）助教授　西独

▽六カ月の調査研究員は二名
新谷浩堆・（文）教授　西独大塚　忠・（経）助教授　西独

▽三か月の調査研究員は二名
山村嘉己・（仏）教授　仏川手昭平・（工）教授英米仏等

15年間に一三一名

関西大学に在外（学術・調査）研究員の制度ができて、今年で十五年。この間、教授、助教授で任命された方は一三一名になる。

一年間の学術研究が七四名。六か月の調査研究が二十三名。三か月が三四名。全学の教職員（副手以上）が五〇四名。定年にでもならないかぎり、帰国後、数年で他校に転出されることもあるまい。

呉支部は八月二十四日午後六時から、呉市内の玉姫殿に三十五名が集まり、総会を開いた。久しぶりのうえに若い校友の参加が多かったので、むしろ"初総会"のような新鮮さ集いだった。

役員を決めたあと、今後は、年一回以上、必ず総会を開くこと、新執行部で規約の整備・検討を進め、次期総会で決めることになった。支部会員の調査もするが、百名程度になるもよう。

新役員は次の通り。

支部長　鍵尾豪雄（昭7大法・弁護士）

副支部長　上開地政夫（昭18専二商・会社役員）▽鈴木　剛（昭18専一商・呉市役所）

会計　松本弘美（昭31学一国・呉市役所）

幹事長　岡本　積（昭27学一経・芸備造船工業）

幹事　井上洋一（昭36学一経・呉市役所）▽真国信忠（昭44学一新・同）▽幅野和義（昭50学一商・同）

連絡先
〒737呉市中央四ノ一ノ六　呉市役所財政課　真国信忠
電〇八三―25―三二七八番。

正・副支部長を再選

大分支部の総会

大分支部では八月二十五日の昼、大分市内のレストラン東洋軒に十七名が集まり第二十七回目の総会を開いた。

懇親の席では、三十回支部総会までには、一層、支部校友の連帯の輪を広げ、母校の百年祭には強い協力態勢をと誓い合った。

正・副支部長の再選をはじめ、決まった新役員次の通り。

◇支部長　渡辺順四郎（昭14大商）

◇副支部長　藤野幸男（昭20専一営）▽菊川徳則（昭31学一商）▽岡本義康（昭33学一国）

◇常任幹事　得丸正雄（昭15大法）▽小野頼男（昭33学一国）▽池田俊哉（昭44学二商）

支部事務所
〒870大分市中央町二ノ六ノ二五
藤野幸男方
電〇九七五―34―一四九九番。

女子秀麗会第6回幹事会

女子秀麗会（井阪寿子会長）では、九月八日、第六回幹事会を開いた。

総務、広報、事業などの部をつくり、今後は会員それぞれが会務を分担し、息のながい、数多くの会員の参加する組織を目指す。

これまでの役員の分属を、希望を重点に、各種のバランスも考えて決めた。

母校百年祭への協力を誓う
大分支部のみなさん

大学院入試応募三〇〇名

大学院博士課程前期（修士課程）の入学試験は九月十六日から。

昨年度に比べて一割減の約三百名が受験の予定。合格発表は九月二十七日。

和歌山・北海道・姫路
大津各市で教育懇談会

本学と教育後援会で開く"大学と家庭のかけ橋"・近畿教育懇談会の秋の会場が決まった。

▽10月6日（土）　和歌山市
和歌山県民文化会館三階
▽10月13日（土）北海道札幌市
日本生命ビル八階大会議室
▽10月21日（日）　姫路市
淳心学院高等学校
▽10月28日（日）　大津市
滋賀女子短期大学

55年度の在外研究員は10名

五十五年度の在外（学術・調査）研究員が決まった。

▽一年間の学術研究員は六名。
笠田欣治・（文）教授　米岩井　浩・（経）教授　瑞西上田惟一・（法）助教授　英三上宏美・（商）助教授東西独福留祥子・（社）助教授　英米藤井拓蔵（工）助教授　西独

▽六カ月の調査研究員は二名
新谷浩堆・（文）教授　西独大塚　忠・（経）助教授　西独

▽三か月の調査研究員は二名
山村嘉己・（仏）教授　仏川手昭平・（工）教授英米仏等

15年間に一三一名

関西大学に在外（学術・調査）研究員の制度ができて、今年で十五年。この間、教授、助教授で任命された方は一三一名になる。

一年間の学術研究が七四名。六か月の調査研究が二十三名。三か月が三四名。全学の教職員（副手以上）が五〇四名。定年にでもならないかぎり、帰国後、数年で他校に転出されることもあるまい。

事務職員は今秋出発を含め23名

事務職員の海外視察も四十年から。一時中断し四十七年から年ごとに派遣されて二三名。この秋、藤井　収・専門図書館事務長と、武藤業吉・天六分館事務長のお二人が欧米に。

高・中・幼も17名

三原尚武、灰野和久の両教諭が第九回夏季世界教育視察団に加わり、七月二十九日から八月二十四日まで、ソ連および欧米の教育事情を視察。長谷川雅樹教諭は第三次大阪府私立学校友好訪中団に参加して八月八日から二十一日の間、中国の教育事情、施設等を視察。

四十八年に在外研修制度が生まれてから七年間で一七名。

中国に。モンゴルに

この夏、公式に私的に海外視察をされた教授方は多い。

大庭脩・文学部長と網干善教・文学部教授のお二人は、日中学術懇談会の派遣で、「日中関係史研究者訪華団」員として、八月三日から十七日まで中国を訪問、主に東北地区（旧満州）で、講演されるとともに、中国人研究者と学術交流をされた。

また体育教室の伴　義孝・助教授は七月二十六日から八月十六日までモンゴルへ。ウランバートルなどで、レスリング・ジュニア世界選手権大会の役員審判員として。

大学院入試応募三〇〇名

大学院博士課程前期（修士課程）の入学試験は九月十六日から。

昨年度に比べて一割減の約三百名が受験の予定。合格発表は九月二十七日。

和歌山・北海道・姫路
大津各市で教育懇談会

本学と教育後援会で開く"大学と家庭のかけ橋"・近畿教育懇談会の秋の会場が決まった。

▽10月6日（土）　和歌山市
和歌山県民文化会館三階
▽10月13日（土）北海道札幌市
日本生命ビル八階大会議室
▽10月21日（日）　姫路市
淳心学院高等学校
▽10月28日（日）　大津市
滋賀女子短期大学

内外国特許・商標・出願全般
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
大花興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話　大阪〇六（五三一）七四三一～七四三五

大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島泰甫
〒550　大阪市西区江戸堀一丁目三五―三〇（とみたビル）
電話（四四一）二一〇〇・一三九四（四四五）〇一五〇

化学機械・工学設計の粋を誇る
貴社の工場或は装置の新設改造には先づ
弊社の技術スタッフを御利用下さい
キムラ式
化学装置　設計・製作・工事
本社工場　尼崎市杭瀬字上島1番地1
電話　大阪（488）2501（代表）
大阪本部　大阪市北区梅田2―1―24
電話　大阪（345）6261（代表）
東京支店　東京都中央区銀座4丁目10―4（明治時計ビル）
電話　東京（541）2191（代表）
木村化工機株式会社
取締役社長　小林　敦
常務取締役　木村雅光（昭和30年商学部卒）

化合繊機械装置及び
公害機器の設計施工
株式会社石山製作所
取締役社長　木村雅光
本社・膳所工場　大津市膳所1丁目12番25号
〒520　電話（0775）代表㉒6665
栗東工場　滋賀県栗太郡栗東町大字大橋388―1
電話（07755）代表②0851
出張所　宇治・岡崎

鉛管・鉛板・卸商
木村モータープール
不動産管理
木村不動産株式会社
取締役社長　木村雅光
大阪市北区西天満2―6―8堂ビル3F
電話（06）364―0988（代表）

濱本工運株式会社
濱本工機株式会社
取締役社長　濱本正吉
（昭和14年大法卒）
本社・兵庫県尼崎市西本町3丁目1番地
電話大阪412―2161―3
鋼管支社　尼崎市東高須町1　電話大阪413―2181
神崎営業所　尼崎市扶桑町2―1　電話大阪401―4975
南浜営業所　尼崎市東海岸町　電話大阪409―1641
滋賀営業所　滋賀県甲賀郡甲西町正福寺榎15　電話07487―2―1901～2

〝自然の秀麗〟に永久の糧

校友会の染井吉野も温情の糧で大きく育成することだろう

わが社の肥料をどうぞ
三木・前教育後援会長がご寄贈

三木社長は前期の教育後援会長だった。旧制・京城高商を出て満州中央銀行に。戦後、化学薬品、石油製品の販売を営む中央化成をつくられた。今は大阪府下の忠岡工場、兵庫県佐用郡上月町の播州工場、秋田県と三工場もある。従業員二百二十人。資本金一億二千万円、年間取扱高二百数十億円。

なかでも播州工場の製品は、有機質原料をアミノ酸にまで加工した有機質肥料という。静岡、信楽のお茶に、愛媛の伊予柑、夏柑に、またゴルフ場のグリーン用に使われている。果樹類の結実や、健康なグリーンを生み出す。この肥料でNHKの農業賞をとった農家も多い。

「教育後援会の広報委員長、会長と二年もお付き合いさせていただき、全くちがった世界を発見させてもらった。生涯が勉強であること。関大の濃厚な感じなど…。お礼にというと、なんですが、せめて私が社長に在職中は、わが社の肥料を関大の庭園樹用に寄贈させてほしい」

「二子息の啓史君（昭54学一法）も、ご入社されたことだし、父子二代にわたって……」

「私がつくったというても、企業であって、三木家の家業とは思っていません。ことにも、どこまで伸びるものか……」

「文教政策を理解される、新しい企業像として」

「そうですネ！　役員にもはかり、この会社が存続するかぎりということにさせていただきましょう」

関大は〝緑の学園〟といわれる。緑地面積は二万五千坪。二万数千本の樹木が植えられている。校友会も四十二年に〝学園緑化募金〟運動を起こし二百余万円を、母校に贈った。当時、三木の染井吉野三百本と、目通り直径三十㌢のいちょう百三十本が関西大学会館の西方に植えられた。またキャンパスのあちら、こちらに「〇〇ゼミ第〇〇期卒業生一同」という立札をもつ記念植樹も多い。

しかし、高速道路が一部敷地の下を走っていることや、広大な敷地の放水設備の問題などもあり、近頃の母校の緑は色がくすんできたようだ、の声もあったおりだけに、願ってもない朗報だ。

小笠公士・関大施設課長の話

私の方は正式にはまだ存じていません。肥料は、そうですね、年間百数十万円は買っています。昨年の夏は、ひでりが強く、相当、枯らしました。今年はホースさえ持っていけば放水できる設備を多くつくり、そうですね、学内で五十数カ所ありますか。これで

〝自慢できる肥料ですヨ〟と森本幹事長に説明する三木社長（右）

▽……△

「この会社の存続するかぎり、関大キャンパスの緑に糧は絶しません」――九月十二日、大阪南区塩町通り四丁目、中央化成株式会社の社長室での三木大吉社長（※）と、関西大学教育後援会の森本靖一郎幹事長との懇談で決まった。早ければ、この晩秋から年間二万数千㌔にのぼる〝アミノ酸肥料〟が寄贈される。学内二万数千本の庭園樹は、さらにおおしく育っていくことだろう。

▽……△

スポーツマンの見たアメリカの新しい力

文学部体育学教室　伴　義孝・助教授

スポーツの危機なのだそうである。一九七六年、アメリカのピューリッツァー賞作家ミッチェナーはSports in America（原題）を書いたが、その翻訳書題が冒頭の警句として表された。本当にそうだろうか。

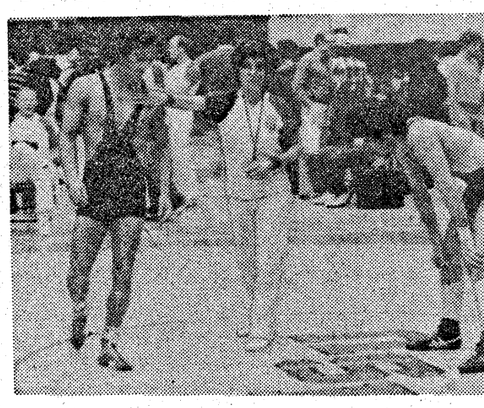
著者は確かな筆はこびでスポーツの汚染源を分析し、危機性を究明する。しかしスポーツを毒する寄生虫を駆除するための念のいった呼えは見せていない。むしろスポーツの一傾向が人間をダメにする魔力を有するかの論理思考で、スポーツはこうあるべきとキメつける危険性が窺える。

こうした論評は日本にも散見できる。大衆を意識したジャーナリスティックと思われる筆さばきは、いかに見事でも、あおりの心理で視覚的人間を翻弄（ほんろう）するに留まらないだろうか。

派手な種目好き　ベトナム戦まで

ベトナム戦争が終わって四年、アメリカは長い混迷と不名誉な時機を脱却しようとしている。その過程では虚無的なヒッピー思想が、文化という借物の衣を着て、甘えの心理に培養されたこともあったが、一方では専念的に物事に取り組む〈デエディケーション思想〉が静かに評価されつつあった。

フロンティヤ精神に代表されるアメリカの国民性は百メートルシュを一気に走るとか、肉弾相撃フットボールのような爆発的なエネルギーの発散を好んだ。彼等は、同じことを満遍なく繰り返さないと開花しない地味な努力の道は苦手であった。とにかくベトナム戦争まで、前進さえすれば求める答えが手中にできた裕福さが、彼等をそう適応させた。


的確に試合をさばくレフリーのミセス・キング

ショーター五輪　マラソンで転換

ところが、一九七二年のミュンヘン五輪のマラソンでショーターが優勝する頃より様子が変わってきた。長期にわたる苦しいトレーニングを必要とする生き方に専念する青年が増えてきたのである。かつてなかったことである。

走るも走らないも自己の決断できまる。こんな明白なことはない。随意筋を動かすのは自分自身の問題である。そこには確実に自己が存在し、自分の世界が拡がる。

テクテクと〈亀さん方式〉でやりとげる、ちょっと見には何の変哲もない行動を選択するのは理由があった。それは病めるアメリカが覚醒させた自然治癒力に他ならない。

青年達はそこに心の平安と内的生命の燃焼の場を発見したのである。

アマレスに女性　国際審判員2人

アメリカには、世界初のアマチュア・レスリングの女性国際審判員にミセス・キングとミセス・ワーガーの二名がいる。〈奇をてらう輩〉にあおられてこの道に入ったのではない。両人の子供が高校レスリングのライバルとして活躍し、両夫君もレスリング関係者である。当然子供を介してレスリングが家庭の中心話題となり、両家の親交が始まる。何かと手伝うちに、こうじて「私も実際に参加したい」となった。

国際審判員になるのは男性でも苦難のこと、それを乗り越えて、モスクワ五輪で笛を吹くことを夢に、いま懸命に特級進級を目指して努力している。趣味の生活空間に生きがいを見つけた率直なよろこび。家族が誇りに思う強い絆。新しいスポーツがここにある。

福祉に結びつく　健康スポーツも

一九六一年以降、青少年の体力低下を問題視した大統領体力審議会（後にスポーツも併称）は、「このままではアメリカの将来はどうなるか」と、手をかえ品をかえテレビでPRを流し訴え続けた。

その結果、福祉と結びついた健康スポーツが出現するまでになった。地域の企業がスポンサーになって、ジョギング大会がアチコチで開催されている。スポンサーは賞品（会社の製品）と賞金を提供する。全員が賞金にありつける仕組みになっているので、目当の参加者がドンサと集まる。実際には賞金は参加者のフトコロに入らない。小切手が渡されるが、それにサインすると回収される。ガン協会とか身障者の施設などに回され、獲得者とスポンサー協同の寄付となる。

参加者は、走る喜びを満喫し、自己の健康づくりだけでなく健康の社会化にも寄与した喜びをも味わう。参加者もスポンサーも一石三鳥。こうしたスポーツもある。

「専念」がいまや　最高のホメ言葉だ

マットの勝者になる秘密はない。あるのは二つの要素だけである。誰もが知っていることだ。マット場で駆使する全ての技術を熟知すること、最高の技術を引き出す体力がその答えである。しかし、トップを目指すためには他より少しだけ余分に努力しなければならない。

ミュンヘン五輪のレスリング・フリースタイル68㌔級で優勝したゲーブルはこの哲学を実践証明した。彼は練習に明け暮れるレスリング中心生活を続けて、ゴールインしたのである。練習計画は、一日七時間にわたる練習をし、それとは別途に、五時のランニングと五〇〇回の腕立て伏せを一日も欠かさず実行することだった。

いまアメリカのスポーツ界で最高の言葉はトータル・デエディケーション（専念する意）である。ゲーブルはその体現者として少年のアイドルとなっている。

科学の過大評価　で日本は衰退へ

わけもなくアメリカの現象を特筆するのではない。専念的に物事に取り組むことは、かつて日本の特徴であった。東京五輪以前の日本では科学的トレーニングという言葉は馴染（なじみ）の薄いものだった。そのかわり職人気質的に一心不乱に専念することが〝お家芸〟であった。

東京五輪金メダル獲得作戦は、日本の旧来の伝統に加えて科学性を求めて、その合体のもとに成功を収めた。

だが落とし穴があった。その後、青少年は〈科学〉を過大評価し、最小の努力で最大の効果を期待する誤った合理性を求めるアヤマチが、体重調整には特製義足で走り回って発汗減量をする。

全米選手権大会にも出場する彼は、「義足をハズスとはスルイぞ！リッキー」と計量時に皆からヒヤカされるほど長く知られているし、実力も相当なもの。

その彼に「なぜレスリングをしているか」と尋ねると「皆と同じさ。自分を試したいから」とアッサリ答える。

先のミッチェナーは同書の巻末に「スポーツの最大の役割は人間の冒険を拡大すること」と書いている。

米スポーツ界に　危機感全く無し

多くの評論家の心配をよそに、アメリカの最近の現象は〈自己確認〉〈自己表現〉〈専念〉〈冒険〉などのスポーツのもつ明るい分野が注視されつつあることを示している。アメリカのエネルギーはこの新しい力に触発されて台頭しつつある。そこにはスポーツの危機は感じられない。人間に視座をあわせてスポーツに取り組むとき、スポーツの危機は消滅する。

人間は多様な生き方をする。決してスポーツの定形は存在しない。スポーツは無色で、いかようにも着色できるが、スポーツが〈生きる〉ことにかかわりを増しつつあることだけは確かだ。

自分を試したい　と片足レスラー

リッキー・マイルズ。二十二歳。彼の左足は膝関節下十㌢までを残して無残にもない。片足レスラーである。生まれつきともいえるハンディキャップを克服して十歳頃よりレスリングの練習を始めた。強い腕力に自信があったからだ。ウエイトクラスは52㌔である。

◆女性の運動と美容

本学で実施しているトレーニング教室に教人の女子学生が入ってきた。「細くなりたい」と言うことである。

中でもウエスト、脚、腕を細くしたいことは女性の最大の願いであるが、多くの研究の結果、局部的に細くする方法は今のところ、見つかっていない。やはりある部分を減らすためには全体（体重）を減らすことが先決である。

ウエストを細くしたり、ヒップアップには、歩行（早歩き）やランニング、バストのためにはランニングの腕振り等が効果があるとされている。それぞれ大脊筋、大胸筋の収縮が繰り返され、筋が発達するためで、皮下脂肪も減少する。

また歩いたり、走ったりする全身運動は、呼吸循環系にも効果があるだけでなく、立位姿勢を絶えず維持しようとする姿勢筋（背柱起立筋や腹筋など）の強化にも役立ちの腰、背痛の予防にもなる。

反面、運動をしないで、下肢等で体をしめつけることは血流循環を悪くし、絶えず受け身の形で体型を保持しようとするので、筋肉自身の収縮性、緊張性を低下させることになる。

美しくありたいと言うのは男女を問わず人間の自然の心です。姿勢がよく堂々としていて活動的であれば、それだけで美しいものです。

（体育学教室助教授　田村　典子）

健康手帳

学園に歌声もどる

学園に二か月ぶりで青春の歌声がもどってきた。一段とたくましくなって。あるものは強化合宿で、あるものはアルバイトで。じっくり存者達の息吹きを吸い込んでやりたいのだが、彼らには試験が待っている。そこで〝燃えた夏日記〟を聞いた。写真をもらって……。現役学生もなかなか熱と意気でチャレンジしたようです――。

枯山水も造り　初の〝夏茶会〟

▽茶道部の藤太勝重君（商三）と布士郁子さん（法三）に会った。

春と秋の茶会は多いが、創部三十一年目にして、初の〝夏の茶会〟を開いたという。

御堂会館四階で、涼しさを出すのに苦労した。廊下に畳を敷き、端には砂利をあしらって〝枯山水〟の趣きも出した。

部屋で、きちんと座り、暑くていいえ、だから御堂さんにしたんです。普通は大阪城の豊国神社か、箕面の正法寺なんだが。

？？？

あそこだけ冷房があるんです。納得、まさに合点だ。当節、心頭を滅却すれば火もまた涼しなんて〝つっぱり〟は、はやらない。

部員は二十三名。男・女学生はほぼ同数。工学部の学生が多いとは意外だった。裏千家。

翔んでる師匠　ら教賀へ巡業

▽にぎにぎしい声がしたので、振り向くと、落語大学の千里家ヤング（商三）、瓜田家小影（社三）の両師匠だった。

部員十五名（うち女性噺家二名）が、八月二十一日から教賀へ一週間の巡業だったという。

まずは一服、と真夏のお点前

文化会館の客席には多くの客が入り……。ただし無料だが……。うれしかった。大鼓腹、七度狐、道具屋など本格派で、ゴキゲンをうかがいまして……。ハイ。

養老院も訪問した。おとしよりが、汗を流して笑ってくれるので、こちらも汗を流して……。なんといっても、呼び込みのための町の練り歩きがつらかった。炎天下だけに男前も、女前も台無しの惨状でした。ハイ。

巡業の一日を〝スポーツ・デー〟として日本海へザンブリと。心も身も軽やかに帰ってきました。ハイ。このさわやかさで、秋のテストを受けますワ。

バスケット遠　征で歓迎攻め

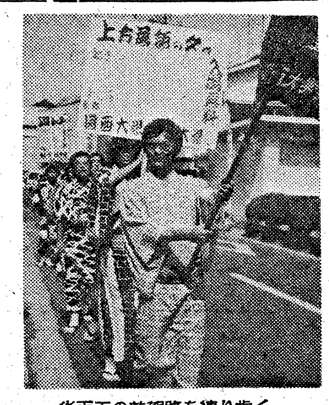
マスポーツを忘れたわけでないが、四十五部とも、すべて頑張っているので選択がたいへん。そこで八月六日から約二週間、日米バスケットボール親善のための関西代表の一人としてロサンゼルス、サンノゼ、サクラメント、タコマ、シアトル、そしてホノルルと回った山下豊美君（工三）に。

遠征メンバー十三人の中で、関大からは私だけ。同志社、京産大（ともに四人参加）などみんな百八十㌢以上で、私だけ百七十㌢。

五勝六敗とまずまずの成績でしたが、町のいたるところにリングがあり、小さな子供までがバスケットを楽しんでいた。まさにバスケットは市民の遊びでした。

いたるところで歓迎攻めにあったが、家庭のお父さん、お母さんなどの良い習俗が日本、すなわちその国、美徳となりつつあることである。

私は二年続けての参加だが、ほんとうに子供たちは明るい。三年前も今年も。みんな一～三年生まで、両親が働きに出ているとか父子・母子家庭で、小学校の放課後に、教室で保育をうけている子供たちです。暗いんでないか？などは大人の偏見ですよ。実態をハダでふれ、確認することの大切さを知りました。


炎天下の教賀路を練り歩く千里亭の師匠たち

〝あかとんぼ〟　のコンサート

▽児童文化研究サークル・こどもの国〝あかとんぼ〟が、吹田市のカギっ子・母っ子・父っ子を関大特別講堂に招いてチルドレン・コンサートを開いた。三回目のことしは、八月二十八、九日の二日にわけて、午後のひとときを一緒に楽しんだ。谷本益雄君（経三）に話を聞く。

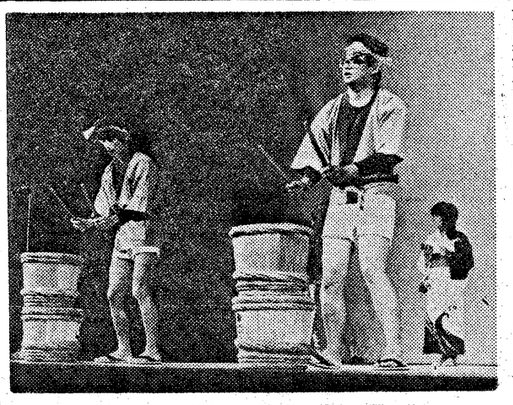
人形劇「日の東・月の西」、歌「気のいいあるる」、人間劇「うかれギター」など盛りだくさんに子供たちの笑い顔の中にとけこんだ。

ロスの町角を行くバスケットチーム

十年ぶり華やかに葦の葉文化祭

第二部文化会の創設三十周年記念の「葦の葉祭」は、〝翔べ！叫べ！熱くなれ！葦の葉ルネッサンス〟を統一テーマに、九月二日午前十時から午後八時まで、大阪府立労働センターで開いた。

文化会十四クラブが総力を結集しただけに、演奏、演劇、映画、展示、茶会……と盛りだくさん。十年ぶりの復活とあって、OBたちも朝早くからかけつけ、会場ロビーは、OB交歓会場と化した。


イナセなタル太鼓も高らかに開幕の〝葦の葉祭〟

メイルボックス

堀江夫妻　北極海へ

ヨット「マーメドイ」号で、地球縦回り六万㌔にチャレンジ中の堀江謙一氏（昭32高一）は八月二十一日、カナダ北極圏レゾリュートに着いた。すでに四万㌔を走破した。

バミューダ島で下船していた妻裕子さん（※）を再びむかへ、ケンブリッチデイへ。モスキモー人の拍手を背にうけて…。

古都長安から

中国旅行中の安井章吾さん（昭4専文）から手紙が。

北京から千二百㌔の長安にいます。明後日は「上海」へ。唐の都であったここで、秦の始皇帝の墓や、楊貴姫の生活した華清池の温泉、三蔵法師の慈恩寺等を見た。

見物をかねて　北海道へ援農

▽北海道援農アルバイトの野津和正君（文三）は、標津（しべつ）の牧場に七月十日から一か月だ。

馬がすきなんですか。

いいえ、ここの牧場は牛です。カラダを鍛えるために。牧草揚げから乳搾りまで、牧場の仕事一切をやってきた。牧草揚げが一番の重労働。つらかったが、終わって洋上はるかに国後島が見えたときなんか一番楽しかった。天気の悪い日が多くて、乳搾しぼりだけでたすかった日もあって……。一か月九万円足らず。

数年前か、仕事がつらくて逃げ帰った関大生があったとか？

それは行った農家によりますよ。牧場は主人が、ゆったりしていいですよ。帰りは北海道、東北と旅して、バイト料は、すっかり使って、さっぱりして帰ってきました。

快活な学生である。

今年、援農アルバイトの関大生は十五人とか。河村直実君（社二）にも聞いた。

当地は東洋と西洋の人間交流点ですから、身長は平均・一、七七㍍ぐらいもある。体色が白いのには驚いています。

安井さんは七十ン歳。お元気な筆勢に、編集部も驚いています。

さわやかファイブ　孤島で若き校友が

会校生徒十一人というミニ中学校、大分県・無垢島の市立無垢中で、五人の女子生徒会員で結成している卓球部が、青森市で開かれた全国中学卓球大会に県代表として出場した。

世帯数わずか二十八世帯、一本釣り漁だけが生活の支えという過疎の孤島に、大きな夢をプレゼントしたのは、五十一年の春、関大を出て島に赴任した西村公一教諭（※）。狭い島内で場所をとらないスポーツとして卓球を選んだとか。〝ひよわな、若ものの世評どころか、若い校友は〝したたか〟であり、熱に燃えています。結構ですナ。

「萬年社」を　再建軌道へ

創業八十九年をことし迎えた広告業界のシニセ萬年社。再建三年目で黒字決算を実現した。山本賢三社長（昭19大法）は、九十周年の来年こそ、真実〝新生〟萬年〟のスタートの年にしたいと、ハッスルしている。

一高同窓会長　四期生古川氏

関西大学一高同窓会の第三代目会長として足かけ八年務められた宇津呂雄氏（昭30学一法・校友会事業部副部長・弁護士）が退任された。ご苦労さまでした。

八月から新会長は第四期生（昭27）の古川智氏（昭31学一法）。石橋郵便局長。校友会代議員でもある。

謝恩の一管

10月19日帝人ホールで　……芦声会

邦楽部OBでつくっている芦声会＝樋口勝彦会長（昭35学一法）＝では、十月十九日午後五時から、大阪東区の帝人ホールで第三回目の邦楽演奏会を開く。

母校の邦楽部を三十年にわたってご指導の、村治流尺八の木下登一大師範への謝恩のための会。OB二十五名の出演が決まっている。

この夜は、生田流琴の菊県かよ師範の協賛もあおげることになっており、芦声会顧問の飯田正一・元関大教授（現・園田学園女子短大客員教授）のご出席もあるという。詳細は九月三十日の打ち合わせ会で詰められる。

連絡は左記の樋口会長宅まで。〒657門真市大字三ツ島一六八三　電〇七二〇―85―三五五番。

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば　家族亭
大阪店　阪急三番街／ウメダ地下センター／阪急32番街
梅田新道／難波戎橋筋／ミナミ地下センター
南OSプラザ／阪急川西能勢口駅前／府道茨木警察署北
東京店　有楽町／日比谷／渋谷／蒲田／池袋／新宿
千葉店　千葉セントラルプラザ／イトーヨーカドー津田沼店
札幌店　札幌井今井本店　仙台店　仙台ジャスコシティー　浜松店　松菱
博多店　西鉄天神コア

季節御料理　大万
前田瀧造（昭七大法）
松竹座裏（211）一一四七　三八〇八
浪速座裏（211）七一九一

十年ぶり華やかに葦の葉文化祭

運転免許は校友がお世話する
〝大阪鶴見の、
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2―13
〒538　TEL(06)912―7171
担当　太田清太郎（昭29.学2法）
優待関大証
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

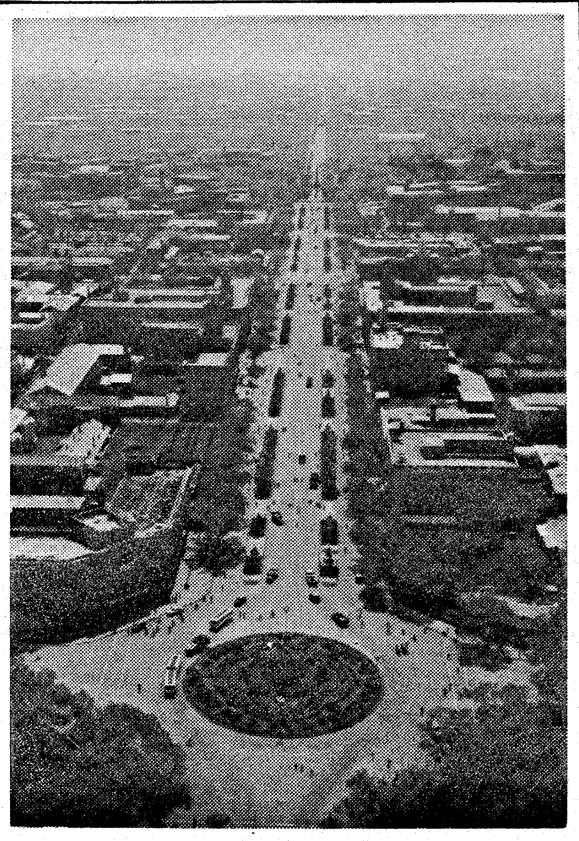
友情は屢々灌漑を要する植物
明日と云はず今日より
喜怒哀楽を、今昔を、
喫茶　カタロ
TEL. 07217 (2) 1079
共にカタロで語ろ
（昭和23 大法卒 井上武彦）

大阪の中のフランス
クリヨン
新入社員歓迎会・同窓会にどうぞ
●純フランス料理　クリヨン
新阪急ホテル北隣・北阪急ビル2F
06―372―5762
●ジャンヌダルク
新阪急ホテル北隣・ギャザ阪神6F
06―373―2325
●シェ・クリヨン
阪急グランドビル32番街
06―315―8325
●ビストロ・ド・クリヨン
阪急三番街
06―372―8174
代表取締役　小林一達
営業支配人　下村八郎　昭39年卒業生

ビーズハンドバッグ
刺繍製品
装いに！
御贈答用に！
はしもと
▶島之内店（小売専門部）
大阪市御堂筋三ツ寺南3軒目
TEL.(211) 2306
本店：大阪　東京店・八重洲口

中国東北地区を訪ねて（上）

文学部教授　網干善教



なつかしい一直線路の長春の市街

八月三日から十七日までの約二週間、文学部長・大庭脩教授ら（東京大学名誉教授・三上次男、山形大学名誉教授・佐藤三郎、立教大学教授・宮川澄ら三氏も同行）五人が、中国社会科学院、吉林省社会科学院の招請による「日中関係史研究者訪華団」として、主として東北地区（旧満州）の社会科学院、各大学、博物館などを訪れた。以下、研究旅行の日記から思いつくままに所感を記してみた。

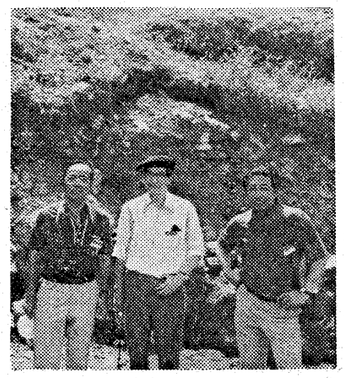
冥利につきる訪中

日本人考古学者の〝第1号〟

今回の訪中は、長春、沈陽（旧奉天）、北京などで、中国の各大学や研究機関の歴史学、美術史学、言語学、経済学、哲学などの研究者に対して講義を行い、そのあとシンポジウムを開き、学術交流の場をもつことが主たる目的であった。

また、それぞれの地域では、研究者と共に遺跡や文物を見学し、意見を交すことも重要な仕事であった。日程のなかで、私は長春市において「日本古墳にみる中国文化」と題し、大庭教授は沈陽市において「日本に舶載された中国の書籍」と題し、約四時間にわたって講義した。講義内容は、私の場合、吉林省社会科学院刊行の『吉林省社会科学戦線』に、大庭教授の講義は『遼寧省社会科学輯刊』に掲載される予定である。

なお、長春市では吉林大学、吉林師範大学、吉林省博物館などで、沈陽では遼寧大学、遼寧省社会科学院の先生方、北京では社会科学院歴史研究所、同考古研究所及び北京大学において個別にシンポジウムが開催された。



吉林市猴石山遺跡で（右から大庭文学部長、三上・東大名誉教授、網干文学部教授）

長江の黄色に思いひとしお

成田空港から日航DC機で出発し、一途北京に向かった。航路は伊豆大島から伊豆半島、遠州灘、潮岬、土佐湾から鹿児島半島を通過し、上海市上空から北折して北京に向かう通常のコースを約四時間で飛行する。

鹿児島上空通過の機内アナウンスがあってからしばらくは、東シナ海の青い海が一面に拡がる。

上海市上空を通過する直前、下界が急に黄色に見えはじめた。一見砂漠のように思えたが、実は長江（揚子江）の川口である。中国では、今年の夏、奥地の方で大雨があったらしい。出発前、石窟寺院で有名な敦煌周辺が浸水したというショッキングなニュースが伝えられていた。

眼下の長江も黄色の帯をのばしたようである。以前訪中の際、西安から延安に、そして北京へと飛行したが、その時、黄河の上空で、その名の通り黄色の大河を見下して、一入（ひとしお）の感を味わったことがあった。それにもまして、今回の長江はそれ以上の黄水であった。

素晴しい景観 北京の並木路

北京空港では中国科学院考古研究所付所長・王仲珠先生はじめ外事局、吉林省社会科学院弁公室主任、呉玉琪先生らの出迎えをうけた。

連絡によると、今夜の夜行列車で、北京駅から長春に出発してほしいとのこと。差し回しの車で、北京駅に向かった。

首都空港から東直路を通り東環北路に至る美しい並木道をみて、大庭教授が一言。「懐れた道だなあ」と。

大庭教授は昨年、私は数年前の訪中で、この道を何回も往復したことがある。

初めて中国を訪れた人は、先ず最初に通過するのが、この道である。御堂筋や堺筋などの景色をみて生活している大阪人には、北京の並木路は実にすばらしいと思われるであろう。印象的である。

市街に入り、各国の大・公使館や賓館などのある辺りから、かつて幾度か買物に来たことのある東長安街の友誼商店の前を通り市街中心地にある北京駅へ。

午後三時三十分発（中国では日本との時差一時間）であるから、早速列車に乗り込む。軟臥車は、一部屋二段ベッド二組（日本でいえば、特急A寝台に相当）である。

中国の鉄道は広軌である。日本の新幹線と同じ・四三五㎜のゲージであるから、車体も広く、揺れも少ない。快適である。私のように夜行列車に強いものは、飛行機もよいが、寝台列車の旅もまた趣があってよい。

夕暮れまでの景色は茫漠たる平原を、直線に走るという感じ。速度もかなり早い。

時々巡回して、笑顔をみせるまだ若そうな女性は「列車長」のプレートを胸につけている。日本でいえば事務車掌であろう。

過去の出来事 申しわけない

午前五時十四分、長春駅に着いた。早朝にもかかわらず、プラットホームで、多くの方々の出迎えをうけた。吉林省社会科学院付（副）院長の揚公驥先生（兼吉林師範大学教授）、考古学者王素礼先生（吉林省歴史学会副理事長兼文物局付局長）も足労下さった。

朝もやの立つ緑の都市、長春市の目抜き通りを抜け、宿舎にあてられた南湖賓館へ。有名な南湖の傍に建つ。

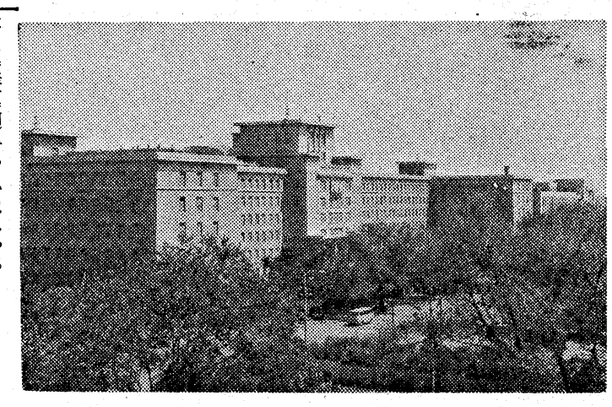
午前中は休養とのこと。「何でもよく食べ、どこでも屈託なしに寝る」ことを心情とする私たちはいたって元気。

長春市は吉林省の省会である。解放前（満州時代）は「新京」と呼ばれ、都市計画の整った町として知られていた。

松遼平原の中央に位置する人口約百四十万の長春市は、日本では想像もできないような美しい町である。

町の案内書に「解放前、長春曾飽受帝国主義和国民党反動派的摧残和蹂躪、市容残破、百業凋敝、民不聊生」（Before liberation Changchun was in ruins and the people lived in poverty, having been subjected to plunder and devastation by imperialists and the KMT reactionaries.）とあった。一読して、過去のことはいえ、誠に申し訳ないと思った。

その文章のあとに「市内街道寛濶、緑樹成荫、市容整洁、空気清新、是一座美麗的都市」（It is now a beautiful city of wide and clean streets lined with trees）とあった。まさしくその表現の通りである。



在学生約4千人・〝重点大学〟の吉林大学

つい飛び出す 母国の大和弁

長春市での感想を若干述べてみたい。

「長春地質学院」（Changchun Geological College）の学舎となっている建物。広大な敷地にあるこの学舎は、校友諸氏のなかには思い出される方もあるだろう。「解放前の政府の重要な建物」と説明されたが、それは「旧関東軍司令部」であり、「旧満州皇帝大宮殿予定地」であったところ。

芝生越しに医科大学の建物も見える。

流暢な日本語で通訳される吉林省社会科学院外事部編訳室主任の賈玉芹女史。その人はかって奈良女子高等師範学校（現奈良女子大学）の文科の学生であった。在学中に帰省したまま、終戦のために再び日本に帰れなかったといわれていた。

学生時代は、すっと奈良に住んでおられたから話ははずむ。

大庭先生も私も「大阪弁」、「大和弁」。時々無意識に飛び出す会話。「せやせや」、「あかんのとちゃうか」など。

「中国は広いから、地方によって言葉がかなり違います。だから方言が混っていると意味が通じないこともありますが、先生方（大庭先生や私）の言葉は、方言混りの中国語よりよくわかります」と。苦笑。

散策かたがた、ちょっと立ち寄った宿舎の近くの南湖公園。森に囲まれた湖。湖水にかかる橋あり、建物あり。印象的であったのは「曲橋亭」（Zigzag Bridge Pavilion）。多くの人民の方々が、美しい景色を楽しんでおられた。

日本語でOK 学術専門用語

講義の翌日、吉林大学。その翌日は吉林師範大学でシンポジウムがあった。

吉林大学（Kirin Univ.）は重点大学の一つ。二十三学、在学生三九三一人の総合大学である。考古学に関していえば、一九七三年、専攻学生を募集し、すでに二学年が巣立った。現在教授以下教職員十九名、学生六十三名である。ここでは、東北地区の考古学研究が盛んである。

吉林師範大学（Jilin Kirin Normal Univ.）も十二学部、十五学科、学生約四千人の大規模な機構をもつ。東北人民大学から東北師範大学と校名が変わり、今は吉林師範大学と称されている。私たちの専門分野でいえば、中国経済史、特に食貨史の研究が盛んであり、同時に日本の教育、日本文学、日本近代史などの研究に関心が持たれている。

総じて長春では日本語の通じる方々が多いようである。私たちが話す学術専門用語も通訳を通さず理解される方もかなり多く、内容の充実した討論ができたと思う。

貴重な資料をぞくぞく発掘

長春滞在最後の日、吉林省博物館を訪れた。博物館所属の研究者はもちろんのこと、吉林省文物管理局、文物工作隊の研究者が多数出席されて、共に研究のすすめ方を話し合い、また多くの出土文物を見て学ぶことができた。

私の研究分野での所感を若干。

まず、目についたのは集安（旧輯安）県五盆墳第四号墓の壁画の原寸大の立体復原模型である。この古墳について、同行の王素礼先生はじめ、吉林省博物館李蓮、吉林省考古研究室の王建群、文物工作隊考古部の福殿李先生など実際に発掘調査を担当されている研究者から、直接説明を受けたことである。

古墳は一九六二年に発掘されたもので、玄室に三基の棺（台）があり、天井から壁面、四神、人物像、そしているところに龍が極彩色で描かれている。これを説明するのは容易ではない。

つぎに集安長川第一号墳の資料である。集安の東北二〇㎞の地点において、一九七〇年発掘調査が行われた。古墳は高句麗時代のものであるが、壁画は下地には生活図を中心とした、いわゆる高句麗的壁画があり、その上に漆喰（しつくい）を塗って四神図が描かれていたという。この四神図を画いた漆喰面が剥落（はくらく）したことによって、下地に絵のあることが確認されたらしい。

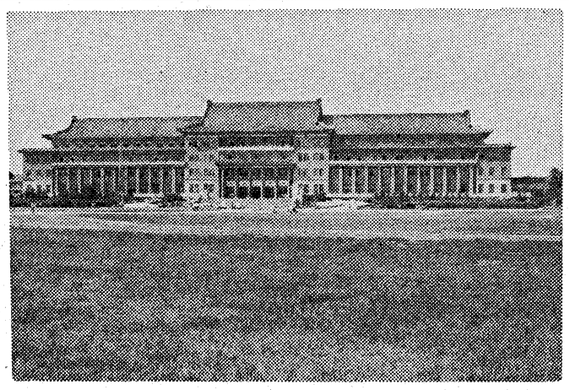
古墳は玄室と前室からなる。玄室の天井には日月星辰図、壁面には多くの連壁が描かれている。前室の上部の梁（はり）には、中央須弥山座に住する定印の如来像を描き、脇侍菩薩像、飛天、礼拝人物などを描いた仏教壁画で墓室が飾られている。

この壁画は未発表であるが、近く『文物』に掲載されるという。壁画古墳の研究上、また高句麗における仏教史、仏教美術史の研究からも極めて重要な資料であり、その調査成果の公表は、多くの業界で話題を呼ぶであろうし、新しい研究課題の呈示となることは間違いない。

本年六月発掘調査された和竜県の高産寺廃址出土の遺物の一部が陳列されていた。立派な鉄製風鐸（ふうたく）や多数の泥塑仏像片の出土があった。私は飛鳥川原寺裏山遺跡で発掘した多量の塑像群との関係で、この高句麗寺院跡出土の遺物に興味をもち、また新しい知見を得ることができた。

なお『文物』（一九七三年第八期）に紹介された和竜県八家子古墓出土の「金帯飾」の実物も見ることができたのは冥利（みょうり）につきる思いであった。

博物館側から、日本の考古学、歴史研究者が訪れたのは私たちが「第一号」であると強調され、感激した。今後、研究成果や、資料の交換を積極的にすすめ、学術研究の友誼交流を深めようと語り合ったこともあって、ご遺族の手紙をよくいただく。ことしも海軍〝桜花〟特攻（20・3・21）の緒方襄君（昭18大予・海軍少佐）のお母さん三和代さん（八七）と、万世を飛び立った陸軍特攻（20・6・11）の巽精造君（昭17専二経・陸軍大尉）のお母さんアサさん（八七）から。八十余歳の母へのなぐさめがないものか。



長春地質学院（旧関東軍司令部だった）

予防法学問題

隣り近所の小さな紛争

法学部教授　槙　悌次

問　隣りとの間の塀が崩れそうになっている。土留め工事を要求できるか。その費用は誰が負担するのか。

答　境界線付近に崖崩れの恐れを生じている場合、その危険に脅かされている隣地の所有者は、崖の所有者に対して危険の原因を除去するよう求めることができる。妨害予防の物権的請求権であり、それは危険な崖が崖上の所有者に属する場合には崖下の所有者に、崖下の所有者に属する場合には、崖上の所有者に発生する。崖が新たにちょうど境界線上にできた場合には、危険が両者に及んでいるかぎり、理論上はどちら側からでも請求できることになるが、実際上は、費用負担の問題とも関連し、崖を生ずるに至ったことについての各当事者の加担の有無や度合いなどによって取り扱いが異ってくるであろう。なお、妨害予防の権利は違法な侵害を生ずる危険が客観的に存在するかぎり発生し、過去に一度現実に侵害を生じたという実績を必要とするものではない。

危険の原因を除去する妨害予防工事の内容は、土留め工事であり、崖の高さや土質などによっても違ってくるが、コンクリート擁壁や石垣の使われることが多いであろう。問題となる費用の負担であるが、それは、その危険な崖が隣地の所有者側によって作られたものであるなど、特別の場合を除いては、原則として崖の属する土地の所有者自身が負担すべきものと解される。

もっとも、費用負担の問題を基本的にどう考えていくべきかについては、議論が存在する。費用のかさむことが多いだけに、それを常に相手方ケ方の崖の所有者に負担させるとすると、危険の発生に対する加担の有無や度合いによっては、時として極めて苛酷な場合を生ずるからであり、また、逆に危険に脅かされている隣地の所有者に負担させるとすると、予防請求権のもつ大方の社会的意義が失われてしまうからである。裁判所が相手方の費用によることを原則としつつも、危険が不可抗力や人間の行為以外に起因する場合について、除外例を設けようとしてきたのもこのためである。いずれにしても、具体的問題に当っては、①危険な崖を作り出した者が責任を負う。②危険な崖の所有者は所有者としての立場で責任を負う。③危険な崖を含む土地の譲受人は前の所有者の負っていた責任を承継するという諸原則を総合して結論が出されることになるであろう。

なお、崖上の所有者が新たに隣地に属する崖近くまで土砂を搬出して宅地化し、建築工事をするために土留め工事を必要とする場合などには、崖の所有者に対し、自己の費用で工事をさせてもらいたい旨申入れるほかはない。

由来は浙江省の松・江府から

松江の地名は、どうしてつけられたのだろうか。巷間では、一六一一年頃、堀尾氏の城主時代、中国の浙江省の松江府の名を借りて、つけられたのをもって嚆矢（こうし）とするというのが、もっとも人口に膾炙（かいしゃ）している。

松江府が、ちょうど松江と同じように、西湖に臨み、風光明媚なところであったこと、そのうえ、宍道湖と同じように宍道なスズキがとれ、シジミサイを産するところまで、似ていたからだという。これを誇りに思う生粋の松江子もすくなくない。

浙江省の松江府は、今の上海市の一地区。他国の一都市の、それも、その中の一行政区名をとって、市名とするのは、と思っていたら、堀尾公が来る前から「松江」の地名があったという、私にとっては、欣喜雀躍すべき説があらわれた。

松江あれこれ

松・林の美しい入江・から考案

松江新大橋の南詰にある白潟神社の、元徳二年（一三三〇年）に掲げられた棟札に「雲州意宇郡松江村白潟神社」と記してあるというのである。これが正しいとすれば、堀尾公が松江と「松江村」という小さな集落があったことになる。

私の在住中、まだ湖岸に松が美しい枝をのばしていた。今は、北松江や嫁ケ島付近に、その名残りをみることができる。ずっと昔は、今の松江の湖岸一帯に、松の木が並び、その姿を競っていたにちがいない。そして人々は「松林の美しい入江」として、「松江」の地名を考えたのが、その濫觴（らんしょう）ではなかろうか。

あくまで私の推測の域を出ないが十分考えられることだし、そうあって欲しいとも思う。大阪の野江、深江、海老江、若江なども、おそらく同じ伝でつけられたのであろう。

このふれあいが未来を開く

松江は菓子どころ、お茶どころとして、お菓子が美味しいことも嬉しい。ことに抹茶にあうのは、「山川」である。この紅白の落雁は、抹茶のみどりに一層映え、しっとりとした生地の甘さに、適度の塩味で、まことによい口さばきである。金沢の「長生殿」、越後は長岡の「越の雪」と並んで打ちものでは日本三銘菓といわれる。

松江は、古いものを保存しながらも、山陰第一の都市として発展している。五十七年島根県で開かれる「ことびき国体」の主会場は、ときまって以来、道路、競技施設および関連施設などの整備が、急ピッチですすんでいる。「ことびき国体」の愛称は、山陰の秀峰の双璧といわれる、大山と三瓶山に綱をかけ、隠岐の島を引っ張ったという、かの有名にして雄大なロマン、出雲神話にもとづく、大会スローガンは、〝このふれあいが未来を開く〟である。

天野　龍彦（昭41学二法）。

関西大学慰霊祭

11月2日　母校慰霊碑前で

校友有志の手で、母校キャンパスに〝オール関大人の慰霊碑〟が贈られて以来、大学の四回目の慰霊祭が、十一月二日に行われる。

ことしは矢口孝次郎（53・11・12）、正井敬次（54・4・13）両学長、河村宣介・元教授（54・5・23）をはじめ、この春、上越新幹線大清水トンネルの火災事故で殉職の栗原隆之校友（昭53工院修）、昨年夏、練習中に倒れた一高・アメリカン・フットボール部の金井勲主将らの御霊がまつられる。

この機会に、これまで慰霊について寄せられた校友諸氏の声を掲載し、あわせて大学側のお話しも。

恩師のご遺族いずこ

藤田　武氏（昭17大経）の話

八、九月には恩師への追慕がしきり。村上予科長、八島さん。また学生歌をうたうとき、中村良之助先生が……。ご遺族にあって慰霊されていただきたいが、ご住所もわからず……。

〝特攻の母〟の手紙に

苗村七郎氏（昭18大経）の話

最後の特攻基地・万世を出版し、ただ一つ残念であったことは、考古学研究を志すものにとって、ぜひ現地を訪ねたい「集安」（壁画古墳が群在し、好太王碑のあることの）に日程の関係で行けなかったことである。（往復だけで最低五日間を要するとのこと）。

だが、学生がふりむかない。残念ことだ。

森　浩志・就職課長の話

明るいといっても、石油の上に浮かんだ日本の産業。いつ急転直下があるかもしれません。自宅待機などが相次いだ五十年の二の舞にならぬよう、慎重に仕事を進めてゆきます。

新刊紹介

充実感いっぱいの教育後援会会報

関西大学教育後援会の会報・第53号（B6判・一五六㌻）を先日、ある人から頂きました。隅から隅まで読ませて頂き、びっくりしました。装幀やグラビアなど外面の美しさはもとより、内容の豊かさ、立派さにです。

私は勤務先で印刷や編集に関係した仕事をしておりますので、これだけの会報を作られるのには、並々ならぬ一苦労があると推察いたします。一冊の会報誕生まで」と題して、広報部長の山本秀夫氏が書いておられましたが、編集その他の仕事に携わっておられる方のご苦労はさぞかしと思います。

大学教育の理念・目標・実情といった硬派の記事。しみじみとした、あるいはほのぼのとしたソフトタッチの随筆。そして、この会報への希望・注文・苦言など…、バラエティーに富み、とても楽しく拝読しました。

森野遵男（昭34学一経）。

大企業の新規も

就職戦線明るくスタート

求人前年比20%増の5500社

九月十四日あさから、企業の「求人祭」が学内に、一斉に掲示された。昨年より約千社も多い五千五百社。日本原子力発電、川崎重工、日本電池、富士通などの新規申し込みも目立つ。

来春の卒業予定者は約五千人。うち四千五百人が就職を希望している。不況のどん底のときに入学した学生だけに、大企業への安定志向が強いらしい。

就職用資料室が、この夏から一号館の屋上にできている。約百五十平方㍍のプレハブで、企業約一万社のファイルが、びっしりならんでいる。昨年のものの二倍である。しかも、学長室にも入らぬクーラーがあり、熱い頭を冷し、じゆっくりと己を見直すには最適だ。

鉄井良男・就職次部長の話

安定志向がますます強くなる。〝仕事へのやりがい〟に挑戦する元気がない。校友のみなさんからは立派な中堅企業のお話しをいただく。ただ一つ残念であったことは、考古学研究を志すものにとって、ぜひ現地を訪ねたい「集安」（壁画古墳が群在し、好太王碑のあることの）に日程の関係で行けなかったことである。（往復だけで最低五日間を要するとのこと）。

商標　登録　昌月
和洋御菓子司
株式会社　昌月堂
〒556　大阪市浪速区新川3丁目661番地
（難波府立体育会館南通り公園前）
電話　631—6565
641—1665（代）
641—6565
山本雅巳
（昭和53年法学部卒）

喫茶　ペカ
地下鉄東梅田・日興証券ビルB1　電313—6774

資本金・1億75万円　社員350余名
当期売上目標・300億円　関大出身23名
不況に強く躍進を続ける
Fashion 丸光
綜合衣料品現金問屋　丸光株式会社
〒541——大阪市東区南久宝寺町2丁目54
本社　貿易部　☎大阪（06）262—1501（大代表）
大阪（06）262—4831（代表）
バイタリティあふれる
来春新卒ファイトマンを求めます

コンピュータ時代をリードする—
印刷の東洋紙業
●営業品目
オフセット・活版・グラビヤ各種印刷
オフセット輪転印刷・電算機用品印刷
紙器・紙袋他各種包装資材の
企画・製造・販売・出版
最高の印刷技術と総合企画
東洋紙業株式会社
取締役社長　朝日多光
大阪（芦原・平野・美原・東大阪）・東京（南品川・横浜）・広島出張所・札幌
本社（06）562—0051・東京支社（03）474—3251・広島（0822）46—7972

アルミニュームの総合表面処理トップメーカー
SHOKOW
株式会社　勝光社
取締役社長　石田光男
本社・工場　大阪市鶴見区放出東一ノ八ノ一六　電話　〇六（962）二一三一（大代）
第一工場　大阪市鶴見区放出東一ノ四ノ七　電話　〇六（961）二四四一（大代）

脂肪太りが気になる方
特に肥満体質の方に最適
美容健康茶
冷やして飲んでも最高です。
●赤ちゃんからお年寄までおいしくお飲みいただけます。
●中華、和・洋食等どんな料理にも合った、美容健康茶です。
ティーバッグ新発売!!
ティーバッグ（20袋入）850円
ティーバッグ（50袋入）2,000円
お徳用箱（130g入）1,500円
中國皇茶　楊貴妃
◉お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・健康自然食品店・お米屋・スーパーで……品切れの節は、弊社までお問合せください。
◉試供品をお送りします。ハガキで弊社まで……
試供品請求係　お申込みは——輸入総発売元　株式会社タムラ
大阪市北区芝田2-6-18商工中金ビル☎（06）373-2101（代）

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社

高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
新東生コンクリート工業株式会社
取締役社長　赤井常隆
本社　550大阪市西区北堀江一丁目一一八　電話大阪（五三八）代表三六二一～八番
支店営業所　東京・名古屋・福岡
工場　静岡・川西・神戸

おわびと訂正

広告で、司法書士・植田喜一氏の事務所、大阪市東区谷町一ノ二六千代田ビルでした。お詫びして訂正します。

八月号4面　残暑見舞名刺

一翼福を祈ります

浜田はるさん（学生課・浜田一雄主任の母）八月十六日、天寿を全うされた。八十二歳。

藤田竹三郎氏（常議員・藤田武氏の父）八月二十一日天寿を全うされた。八十二歳。

前田健治氏（代議員・前田孝一氏の父）八月二十二日、肺気腫で。七十八歳。

大石しまさん（社会学部・大石準一教授の母）九月三日、死去。九月七日、心不全で死去。六十九歳。

吉田博氏（元・工学部助教授）